

昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案 特別委員會議事速記録第三號

第八十四回 帝國議會 貴族院 昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充特別ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案

昭和十九年二月一日（水曜日）午前十時十分開會

○委員長(男爵東郷安君) デハはヨリ開會致シマス、本日ハ昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案、此ノ案カラ御質疑ヲ願ヒタイト思ヒマス、最初ニ本案ノ第三條、第四條ニ關シマシテ、鐵道當局カラ一應説明ヲ伺フコトト致シマス

○政府委員(坂本鐵三君) バレテハ只今方
ラ今回買収致シマスル各鐵道ニ付テ御説明
ヲ申上ゲマス、御手許ニ配付シテゴザイマ
ススウ云フ参考書ガゴザイマスガ、其ノ中
ニ各鐵道ノ地圖ガ入ッテゴザイマスカラ、
其ノ地圖ヲ御開キノ上御聽取り願ヒタイト
思ヒマス、北ノ方カラ順ニ申上ゲマスト、
先ヅ北海道ノ膽振縦貫鐵道デゴザイマス、
其ノ鐵道ハ全線鐵道敷設法豫定線ニ該當
シテ居リマシテ、沿線ニハ鐵礦山ノ增産開
發ヲ致シテ居リマスノデ、是ト相俟チマシ
テ極メテ重要ナ路線デゴザイマスノミナ
ラズ、函館本線ト室蘭本線トヲ結ンデ居リ
マス線デゴザイマシテ、運輸計畫上重要ナ
路線ヲ形成致シテ居リマス、其ノ次ハ本州
ニ參リマシテ宮城電氣鐵道デゴザイマス、
此ノ宮城電氣鐵道ハ鐵道敷設法ノ豫定線ニ
該當致シテ居リマスト共ニ、近時沿線ニ多
數ノ軍事施設及重要工場ノ建設ヲ見ルニ至
リマシタノデ、本鐵道ノ輸送力ノ強化ヲ圖
ルコトハ時局下極メテ緊切ナモノガアルト
存ズルノデアリマス、第三ハ東京近郊ニ入

リマシテ南武、青梅、奥多摩、此ノ三鐵道ヲ便宜上一括シテ御説明申上ガマス、是等三鐵道ノ中デ、南武鐵道ハ中央本線ト八高線、東海道本線及鶴見川崎臨港線トヲ結ブ重要ナ路線デゴザイマス、青梅電氣鐵道ハ奥多摩電氣鐵道ト相俟チマシテ、鐵鋼增産ニ必要ナ石灰石等ノ重要物資ノ輸送ヲ行ツテ居リマスト共ニ、南武、青梅電氣ノ兩鐵道ニ於キマシテハ、其ノ沿線ニ最近多數ノ軍閥係諸施設及ビ重要工場ノ建設ヲ見テ居ル次第デゴザイマスノデ、是等三鐵道ヲ國有鐵道ニ編入致シマシテ、輸送力ノ強力ヲ圖リマスコトハ、現在急務カト存ズル次第デゴザイマス、次ハ相模鐵道ノ相模線デゴザイマス、此ノ鐵道モ中央本線ト東海道本線トノ短絡線デゴザイマシテ、近時多數ノ軍事施設及重要工場ノ建設ヲ見マシテ、一層ノ重要性ヲ加ヘテ參ッタ次第デアリマス、次ハ飯山鐵道デゴザイマス、飯山鐵道ハ全線鐵道敷設法ノ豫定線ニ該當致シテ居リマシテ、信越本線ト上越線トヲ短絡致シマス重要ナ路線デゴザイマス、次ニ關西方面ニ参此ノ線ハ大阪方面ト和歌山方面ト結ビマシテ輸送計畫上重要ナバカリデナク、沿線ニリマシテ、南海鐵道ノ山手線ニゴザイマス、此ノ線ハ大阪方面ト山陰、兩幹線ヲ連絡致シマス所ノ重要性ヲ加ヘテ參ッタ次第デアリマス、次ハ中國鐵道デゴザイマスガ、御承知ノ通リニ山陽、山陰、兩幹線ヲ連絡致シマス所ノ重要性ヲテ、軍需生産ノ確保增强上、其ノ重要性ヲ加ヘテ參ッタ次第デアリマス、次ハ中國鐵道デゴザイマス、次ハ西日本鐵道ノ宇美線及

糟屋線デゴザイマス、此ノ路線ハ糟屋炭田ノ増產ト、博多港水陸連絡施設ノ整備上極メテ重要ナモノデゴザイマス、以上申上ゲマシタヤウニ、是等十線ハ或ハ幹線輸送路ノ整備上、或ハ軍需生産ノ確保上、極メテ重要ナモノデアリマシテ、戰時輸送力強化ノ上カラ、國有鐵道ニ編入スルコトガ緊切ダト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、最後ニ今回補償致サムト致シマス所ノ篠山鐵道ニ付テ申上ガマスト、省線篠山線ハ福知山線篠山驛ヨリ工事ヲ着手致シマシテ、篠山福住間ガ近ク竣工ノ豫定デアリマス、是が開業上ノ上ハ是ト接近茲行政シテ居リマス篠山線ハ、到底併立シテ經營出來ヌ影響ヲ受ケルコトニナリマスノデ、其ノ營業ヲ廢止セシメ、地方鐵道法ノ規定ニ基キマシテ其ノ損失ヲ補償致シタイト考ヘル次第デアリマス、以上ノ買收補償ニ付キマシテハ、買收代金及補償金トシテ交付スル爲、公債ヲ發行シ得ルコトトスルノ必要ガアリマスノデ、法律案ガ提出致サレシタ次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上御賛成ヲ御願ヒ申上ガタイト存ジマス

○委員長(男爵東郷安君) 是ヨリ御質疑ヲ願ヒマス

○子爵米田國臣君 過日來ノ梅園子爵カラ貯蓄ノ成績ニ付テ御質問ガアリマシタノニ對シテ、局長カラ十八年度ノ目標額ニ對シテ昨年度十二月迄ノ實績ガ二百十七億五千四百萬圓デ、丁度目標額ノ八割五厘強デ、本年一月カラ三月迄ノ第四四半期分ヲ昨年

號

度同様五十五億ト假定スルト、大體目標額ノ二百七十億圓ハ突破出來ルト云フヤウナ御答辯デアリマシテ、大イニ意ヲ強ウスル次第デゴザイマス、ソレニ付キマシテ一方公債ヤ、債券ノ消化ノ状況ニ付テノ参考資料ヲ拜見致シマスト、十三年度ガ八十九・八、十四年度ガ八十六、十五年度ガ八十二・七、十六年度ガ八十七・一、昨年度ガ大變宜イノデ九十五・八トナツテ居リマシテ、本年度ガ九十一・五デゴザイマス、之ヲ拜見シマシテ、多少消化率ガ低下シタヤウナ感ジガスルノデアリマス、殊ニ本年度ハ尙多數ノ發行ガアル譯デアリマスルカラシテ、ソレカラ見マシテ本年度ハ此ノ低下シタ率ガ益、殖エテ來ルノデヤナイカト云フヤウナ虞ヲ抱ク者デアリマス、ソレニ付キマシテ最早ヤ今日トナリマシテハ、ソレニ對スル何分カノ處置ヲ御考ヘニナラナケレバナラヌカト考ヘルノデアリマスガ、ソレニ付テ伺ヒタイト思ヒマス

○宮田光雄君 今ノ質問ハ私ハハッキリ聽カヌカツタノデスガ、鐵道ト關聯シタ質問デスカ

○委員長(男爵東郷安君) 議案全部デス

○宮田光雄君 鐵道ノコトハドウナツタノデスカ

○委員長(男爵東郷安君) 速記ヲ止メテ
〔速記中止〕

○委員長(男爵東郷安君) 速記開始

○伊藤傳七君 此ノ際鐵道ノコトニ付テ御伺ヒ致シタインノデスガ、今回地方鐵道ガ買

收セラレマシタコトハ、此ノ戰力増強ノ意圖カラ行ハレマシタコト思ヒマシテ、我トイシテ誠ニ御同慶ニ存ズル次第アリマスルガ、昨年モ十幾ツカノ地方鐵道ガ買收セラレ、又本年モ十四デアリマスカ買收セラレタノデアリマス、今後政府トシテハ地方鐵道ヲ國有ニ徐々ニ買收セラレルト云フ御意思ノ下ニ御ヤリニナツテ居ルノデハナイデセウカ、其ノ點一ツ承リタイト思ヒマス、尙地方鐵道ノ中ニ今回行ハレルヤウナ營業ヲ中止サレルモノデ、補償サレルモノガマダ相當アルノデヤナカト思ヒマスガ、此ノ點モ御差支ナイ限り御示ヲ願ヒマス。

○政府委員(堀木謙三君) 昨年モ相當多數ノ鐵道ヲ買收致シマシタシ、又本年モ多數ノ鐵道ヲ買收致サウトシテ御協贊ヲ御願ヒ致シテ居ル次第アリマスガ、實ハ概念的ニ地方鐵道ヲ逐次國有鐵道ニ編入スルト云フ風ナ方針ノ下ニ致シテ居ルト申上ガマスルヨリハ、寧口現下ノ軍需生產ナリ、幹線輸送網ノ整備、特ニ昨年十月以來陸運ノ非常態勢ヲ確立致シマシテ、沿岸ニ動イテ居リマス海運關係ニシテ、陸運ニ轉嫁出來得ルモノハ極力之ヲ陸上輸送ニ移シマストカ、或ハ國內資源ヲ急速ニ開發致シマストカ、軍需生產ガ確保サレルト云フ觀點ニ中心ヲ置キマシテ、陸運ノ整備増強ヲ圖ッテ居リマスノデ、其ノ點カラ見マンチ國有ニ編入致シマスクトガ刻下最モ必要デヤナイカ、ト云フ路線ヲ選定致シテ居ル次第アリマス、買收候補豫定線ダト云フ風ナコトヲ決メマシテ、サウシテ致スニ致シマシテモ非常ニ

情勢ガ變ダテ參リマスノデ、其ノ時ニ依ヅテ今申シマシタヤウナ觀點上カラ、國有鐵道ニ編入致スト云フ風ナ方針デ進ンデ參ツテ居リマス、勿論一方ニ於キマシテ幹線ニ付キマシテハ、我ガ國ニ於キマシテ國有ヲ原則ト致シテ居リマスコトハ申上ガル迄モ、ナイコトデゴザイマスガ、全ク一方ノ交通居リマス、勿論一方ニ於キマシテ幹線ニ付キマシテハ、ソレニ幹線輸送ト併セマシテ、輸送力ヲ増強スル要ノ緊切サガ少イモノニ付キマシテハ、國有鐵道ニ編入致シテ行カウト云フ意思ハ只今ノ所持ツテ居ナイ譯デゴザイマス、ソレカラ第二點ハ最近行ハレマシタ地方鐵道、軌道ニ於ケル廢止、休止ノ問題ダト考へルノデゴザイマスガ、是ハ御承知ノ通リニ國有鐵道ニ於キマシテモ同様デゴザイマスガ、陸運ノ増強ノ爲ニ相當ノ資材ヲ必要ト致スノデゴザイマスガ、到底許シマセヌノデ、施設ヲ重點的ニ轉用致シマスト云フ風ナ觀點カラ、國有鐵道ニ於キマシテモ地方鐵道ニ於キマシテモ、或分ヲ休止致シマシテ、ソレニアリマス所ノ鐵道施設ヲ、他ノ重點ナ工事ニ轉用致スト。之ヲ確保致シマスコトハ現下ノ事情カラモウ一ツ御伺ヒ致シマスガ、此ノ廢止スル相当アル向ヲ聞イテ居ルノデスガノドウシテモ是ハ國策上カラ廢止シテ行カナケレバナラヌ問題ナノデスカ、多少地方的ノ事情ヲ御考ニナルモノデアリマスカ、伺ヒマス○政府委員(堀木謙三君) 何ト申シマシテモ交通機關ガゴザイマス所ハ、ソレニ依リマシテ矢張リ社會生活ガ營マレテ居リマスト申シマスカ、矢張リソレニ依リマシテ文化、經濟、產業、民生等ガ總てソレニ絡シ形成サレテ居リマスノデ、此ノ交通機關ノ撤去ト云フヤウナモノニ付キマシテハ、其ノ休廢止サレル地方ノ人ニ取テ非常ニ大キナ犠牲デゴザイマス、犠牲ト申シテ宜イノカ惡イノカ知リマセヌガ、兎モ角モ非ニモ、地域的ニハ誠ニ御不便デアリ御氣ノ外ノ資材ニ付キマシテハ、此ノ回収ヲ致シゴザイマスガ、之ニ對シマシテハ、極力代行致シマス所ノ交通機關ヲ、自動車其ノ他ナコトニ相成ツテ居リマス、今後ノ問題ニ付キマシテハ、矢張リ本年度ノ物動計畫ト、ソレニ伴ヒマシテノ資材整備計畫ト云フモノガ相立チマセヌト、何トモ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、矢張リ其ノ時ノ國ノ情勢ニ依リマシテハ、今後モ起リ得ルト云フコトヲ豫想致シテ居ル次第ゴザイマス。

○伊藤傳七君 大變有難ウゴザイマシタ、モウ一ツ御伺ヒ致シマスガ、此ノ廢止スル地方鐵道ノ中ニ、政府ノ方デハ廢止ヲセヨト仰シヤル、又地方トシテハ是非殘シテ置イテ貴ヒタイ、ト云フヤウナ地方的事情ガ相當アル向ヲ聞イテ居ルノデスガノドウシテモ是ハ國策上カラ廢止シテ行カナケレバナラヌ問題ナノデスカ、多少地方的ノ事情ヲ御考ニナルモノデアリマスカ、伺ヒマス○政府委員(堀木謙三君) 何ト申シマシテモ交通機關ガゴザイマス所ハ、ソレニ依リマシテ矢張リ社會生活ガ營マレテ居リマスト申シマスカ、矢張リソレニ依リマシテイノカ惡イノカ知リマセヌガ、兎モ角モ非ニモ、地域的ニハ誠ニ御不便デアリ御氣ノ外ノ資材ニ付キマシテハ、此ノ回収ヲ致シゴザイマスガ、之ニ對シマシテハ、極力代行致シマス所ノ交通機關ヲ、自動車其ノ他ナコトニ相成ツテ居リマス、今後ノ問題ニ付キマシテハ、矢張リ本年度ノ物動計畫ト、ソレニ伴ヒマシテノ資材整備計畫ト云フモノガ相立チマセヌト、何トモ申上ガ兼ネルノデアリマスガ、矢張リ其ノ時ノ國ノ情勢ニ依リマシテハ、今後モ起リ得ルト云フコトヲ豫想致シテ居ル次第ゴザイマス。

○宮田光雄君 今ノ政府委員ニ御尋ヲシタイ、私ハ書類ガナインデスガ、三重縣ノ津ノ附近ニ、長イ間不振ノ狀態デアツタ安濃鐵道ト云フモノガアリマスネ、アレハドウシテ納得シテ戴クヤウニシタイ、斯ウ云フ風ニ考へテ參ツテ居リマス。

○宮田光雄君 安濃鐵道ハ今度ノ休廢止ノ中ノ一ツノ線ニナツテ居リマスカラサウ云フ處置ニ付テ御伺シタインデスガ……

○政府委員(堀木謙三君) 實ハ此ノ問題ハ至急處置スル必要ガゴザイマスノデ、一月ノ十日限リ休廢止ヲ致スト云フ、斯ウ云カラサウ云フ處置ニ付テ御伺シタインデスガ……

○政府委員(堀木謙三君) 實ハ此ノ問題ハ常ニ不便ダ、他ノ企業整備トハ違ヒマシテ、全國的ニ國民全部ガソレニ依リマス所ノ負荷ヲ負擔スルト云フヤウナモノニ付キマシテハ、非常ニ慎重ヲ期サナケレバナマセヌノデ、非常ニ貴族院 二

○政府委員(堀木謙三君) 全部ニ付キマシテ
テ斯ウ云フ風ニ致シテ居リマス、一月十日
限リ地方鐵道軌道ニ付キマシテハ休廢止ノ
申請ヲ致シマシテ、サウシテ其ノ資材施設
ノ撤去ニ掛リマスノデゴザイマスガ、撤去
ニ掛リマス時期ガ實際問題トシテ稍々遅レ
マス場合ニハ、其ノ間事業ヲ繼續シテモ宜
イ、斯ウ云フ風ナコトニナツテ居リマス、唯
先程申上ゲマシタヤウニ、今度ノ撤去ニ關
聯シマシテハ、一方轉用資材ヲ非常ニ急イ
デ居リマス所ガゴザイマスノデ、既ニ其ノ
引當計畫ヲ終リマシテ、撤去ニ著手致シテ
居リマスモノガ相當多ウゴザイマス
○宮田光雄君 サウスルト、アト代行スル
ヤウナモノハ、「バス」デアルトカ、何カ一
ツノ方法ハ立テテ居ラレルノデスカ、サウ
云フ休止トカ廢止サレル線ナドニ對シテ
ハ……
○政府委員(堀木謙三君) 休廢止致シマス
鐵道ニ代シテ交通機關が必要ナ所ニハ、地方
廳ト相談致シマシテ特段ノ處置ヲ講ズル、動
特段ノ處置ト申マシテモ、大部分ハ自動
車ニ代ハルト云フコトガ多イノデアリマス、
唯撤去致シマス部分デモ、極ク區間ガ短イ、
或ハ他ニ接近竝行致シマス所ノ路線ガアリ
マス場合、サウ云フ風ナモノニ付キマシテ
ハ別ニ處置ヲ致シテ居リマセヌ
○委員長(男爵東郷安君) 尚此ノ際、本法
案ノ三條、五條ニ瓦リマス朝鮮ノ鐵道買收
ニ關シテ、政府委員カラ御説明願ヒマス
シテ御説明申上ゲタイト存ジマス、此ノ事
業公債法中改正法律案ト云フモノノ中ニ朝

鮮全體ノ圖面ヲ差上ゲテゴザイマス、其ノ外ニ私鐵買收ノ法律案ト致シマシテ、買收サレルベキ個々ノ鐵道ニ付テノ圖面ヲ御手許ニ差上ゲテ居リマス、十九年度ニ於キマシテ買收ヲ計畫ヲ致シテ居リマスルノハ四線ゴザイマス、第一ガ北鮮拓殖鐵道株式會社所屬ノ線デアリマシテ、圖面デ是ハ咸鏡北道ノ茂山・古茂山間、清津ヨリ北ニ參リマシテ咸鏡線ノ古茂山驛カラ左ノ方、滿洲トノ國境ノ茂山ト云フ所ニ參ツテ居リマス鐵道デアリマス、六十「キロ」四分ノ廣軌鐵道デアリマス、此ノ鐵道ハ茂山ノ鐵山ノ開發ニ伴ヒマシテ、是ハ當初ハ狹軌デアリマシタノヲ、現在廣軌ニ既ニ改築サレテ居ルノデアリマスルガ、此ノ茂山ノ鐵山ハ其ノ埋藏量ガ非常ニ豐富デアリマスルト云フコトトタノノ鐵道ノ最モ大キナ使命デアルノデアリト、又生産量ノ額ガ非常ニ大キイ、是ハマア全國ニ於キマシテ有數ノモノデアルノデアリマス、先づ鐵鑛石ヲ運ブト云フコトガ、此ノ鐵道ノ最モ大キナ使命デアルノデアリマスルガ、尙ソレニ加ヘマシテ、今年ノ十月ニハ其ノ茂山カラ左ノ方ニ點線デ現シテ居リマス延社ヲ經テ白岩ニ至ル此ノ鐵道ガ、サウ相成リマスルト咸鏡北道ノ清津カラズックト下ニ下ッテ參リマシテ、吉州ト申ス所ガゴザイマスガ、此ノ吉州カラ惠山鎮迄參ツテ居リマスル惠山線ト云フノト茂山トガ、白岩ト申ス所デ全部連絡ヲスルコトニ相成リマス、其ノ周邊ニ於キマスル林產物ノ搬出ノ點カラ顧ミマシテモ、此ノ茂山・古茂山線ト云フ鐵道ハ非常ニ重要ナルコトニ相成

テ参リマスルノデ、主トシテ鐵ノ運輸又加
ヘマンテ林產物ノ搬出ト云フヤウナ點カラ
顧ミシテ、此ノ際買收ヲ致シマシテ、更
ニ輸送力ノ強化ヲ圖ルト云フコトニ致シタ
イト存ジテ居ル次第アリマス、此ノ鐵道
ハ建設費ガ大體買收ノ時期迄ニ於ケル豫想
ト致シテ三千百三十一萬餘圓ノ見込デアリ
マス、建設費ノ價格ヲ以テ買收致スコトニ
豫定致シテ居ルノデアリマス、次ハ西鮮由
央鐵道株式會社所屬ノ鐵道ノ中、新成川、勝
湖里間、此ノ間六十八「キロ」四分ト云フノ
ヲ買收致サムトスルノデアリマス、西鮮由
央鐵道株式會社ト申シマスト、此ノ全體ノ
地圖デ平壤ノ附近デアリマス、西海岸ノ左
里カラ北ノ方ニ參リマシテ、平壤ト元山ヲ
結ブ所謂平元線ト云フノニ新成川ト云フ所
ト云フ所カラ分岐シマシテ、勝湖里ト云フ
所ニ致鐵道ガ行シテ居リマス、ガ、此ノ勝湖
ノ平壤カラチヨット南ニ下リマシテ大同江
ト云フ所カラ分岐シマシテ、勝湖里ト云フ
ガアリマスガ、此ノ新成川ト云フ所デ交叉
致シマシテ、更ニ北ノ方、北倉迄參シテ居ル
鐵道デアリマス、今年度十九年度ニ於キマ
シテ買收ヲ計畫致シテ居リマスルノハ、此
ノ勝湖里ト新成川迄ニ至ル間六十八「キロ」
四分デアリマス、新成川カラ北倉迄ハ今開
業ハ致シテ居リマスルガ、更ニ北倉カラ北
ノ方ニ參リマシテ、長上里ト申シマスル所
迄目下建設中デアリマスルノデ、旁々此ノ
新成川ト勝湖里間、此ノ間ハ無煙炭ノ埋藏
量ガ非常ニ豐富ナル地帶デアリマス、無煙
炭ノ搬出ヲ主タル目的トシテ敷設セラレタ
鐵道デアリマス、此ノ勝湖里ト新成川ノ間
ハ國有鐵道ト環狀線ヲナシテ居リマスルノ
デ、元山ト平壤トノ連絡ノ關係及無煙炭搬
出ノ關係カラ見マシテ、此ノ環狀線トナシ

朝鮮鐵道株式會社所屬ノ鐵道全部ヲ買收ノ
計畫ヲ致シテ居ルノデアリマス、鐵道ハ狹
軌デゴザイマス、此ノ地方殊ニ下聖付近ハ
非常ニ豐富ナル是亦鐵鑛石ノ產地デアリマス、
大體此ノ鐵道ノ沿線各所ニ沿ヒマシテ、鐵
鑛石ナリ「セメント」ノ原石、或ハ時局下最
モ必要ナ鉛鑛、螢石ト云フヤウナ地下資源
及ビ黃海道ハ穀物ノ產地デアリマス、是等
ノ地下資源竝ニ穀類ノ輸送ノ重要ナル路線
デアリマシテ、殊ニ鐵鑛石ノ緊急增産ト云
期的増產ト云フコトニ即應致シマスル爲ニ
此ノ鐵道ヲ買收致シマシテ、尙沙里院ト海
州ノ間、主トシテ鐵鑛石ヲ產ジマスル土地
ノ此ノ間ニ沿ヒマスル鐵道ニ付キマシテハ、
狹軌デハ到底其ノ使命ヲ果スコトハ出來マ
セヌノデ、之ヲ廣軌ニ改築スルト云フ計畫
モ樹テマシテ、買收スルト同時ニ此ノ廣軌
改築ノ豫算ニ付キマシテモ、別途豫算ノ方
デ御願ヒ致シテ居る状況デアリマス、此ノ
朝鐵ノ黃海線ハ成績ガ宜シウゴザイマス、
此ノ狹軌ノ建設投資額ハ二千九十五萬餘圓
ト相成ル見込デアリマスガ、私鐵ノ買收ニ
付キマシテハ、内地ノ法規ニ準據致シテ買
收スルコトニシテ居リマス、ソレニ依リマ
スルト、收益ガ宜シウゴザイマス、五分以
上、最近ノ收益ハ七分一毛程ニ相成シテ居
リマスルノデ、其ノ收益カラ還元ヲ致シマ
シタ價格デ以テ買收價額ニ相成ラウカト存ズル
ノデアリマス、最後ニ釜山臨港鐵道株式會
社所屬鐵道デアリマス、是ハ釜山ノ港ノ中
ニアルノデアリマス、此ノ細カイ圖面ノ方

ノ御説明申シマスルト、釜山ノ機橋ノ終端
ノ驛ガ釜山、其ノ次ガ草梁トアリマス、其
ノ更ニ先ニ釜山鎮、是ハ東京デ申シマスル
ト品川ト云フヤウナノニ當リマセウ、此ノ
釜山鎮カラ右ノ方ニ出テ居ル鐵道六「キロ」
一分ノ廣軌臨港鐵道デゴザイマス、哉蠻里
ト云フ所ノ赤崎ト云フ所ニ參シテ居ル臨港
鐵道デアリマシテ、是ハ鐵道ノ外ニ港灣施
設及倉庫ヲ有シテ居ルノデアリマスルガ、
釜山ハモウ是ハ御承知ノ通り滿洲事變以
來、釜山港ノ吞吐能力ノ増強ト云フコトハ、
非常ナル國家ノ要請トシテ此ノ能力ノ増進
ニハ、總督府ト致シマシテ全幅ノ努力ヲ拂ッ
テ居ル所デアリマスルガ、更ニ昭和十七年
ノ十二月以降、滿洲及ビ北支ノ重要物資ニ
シテ、内地ニ運バナケレバナライ物ヲ、
海運、船腹、色ニ關係デ陸運ニ轉嫁致シ
マシテ、相當莫大ナル數量ヲ、朝鮮ノ鐵道
ヲ經由シテ南ノ朝鮮ノ各港カラ内地ニ運ブ
ト云フコトガ、昭和十七年十二月カラ至上
命令トシテ要請サレテ居ルノデアリマス、
莫大ナル數量ヲ朝鮮ノ鐵道トシテ運ブコト
ヲ負荷サレテ居リマス、釜山ノ港ノ能力ノ
増強ニ付キマシテハ、全幅ノ努力ヲ拂ッテ
之ガ擴充ニ努メテ居ル所デアリマスルガ、
尙其ノ外ニ軍ノ關係ト致シマシテモ、釜山
ノ港ノ施設ハ缺クベカラザル重要性ヲ持ツ
テ居ルノデアリマス、從ヒマシテ此ノ鐵道
ヲ買收致シマシテ、港灣施設ヲ併セテ買
收シマシテ増加ノ一途ヲ辿リツ、アリマス
デアルノデアリマス、建設費ハ此ノ買收ノ
ル釜山ノ貨客ノ輸送ニ對シテ、出來ルダケ
能力ヲ擴充スルト共ニ、尙軍事上ノ要請ニ
副ハムトスルノガ、此ノ鐵道ノ買收ノ目的
ノ豫定ハ、約八百五十五萬餘圓ノ見
期迄ノ豫定ハ、約八百五十五萬餘圓ノ見

○宮田光雄君 此ノ鐵道ノ買收ノ項目ニ付
テ、彼此意見ガアル譯ヂヤナイノデスガ、
此ノ間ノ政務總監ノ御説明ニ關聯シテ、財
務局長カラ伺々テ置キタイノデスガ、若シイ
ケナケレバ此ノ間ノ説明デモ速記ヲ止メマ
シタガ、止メテモ宜シイノデスガ、サウ速
記ヲ止メヌデモ宜イト思フンデスケレドモ、
ソレニ關聯シテ聽イテ置キタイノデスガ、
別ニ祕密會ニシテ戴カナクトモ宜シイノデ
ス、若シ必要ガアレバ速記ヲ止メテ戴キタ
イ、ソレハ内地ニ移動シテ來ル朝鮮ノ勞働
者ハ、無論非常ニ貢獻ヲシテ居ルノデスガ、
其ノ又一面ニ於テ非常ニ徒黨ヲ組ンダリ、
色々ナコトヲシテ產業上ニモ影響ヲシテ居
ル、委員長速記ヲドウスルノデスカ

○委員長(男爵東郷安君) 止メテ宜ケレバ
止スマス

○宮田光雄君 私ハドウデモ宜イノデス
メ説明シテ居リマシタカラ、ソレニ關聯
シテ居リマスカラ……
止メテ

午前十時五十六分速記中止

○委員長(男爵東郷安君) 御希望ニ依ッテ
止スマス

○委員長(男爵東郷安君) ソレデヤ速記ヲ
定セラレテ居リマスル、朝鮮關係ノ買收セ
ムトスル鐵道ニ付テノ御説明ト致ス次第デ
アリマス

○委員長(男爵東郷安君) 速記開始、先刻

米田子爵カラ大藏省ニ御質問ガゴザイマシタ、此ノ際大藏省カラ御答辯願ヒマス
○政府委員(田中豊君) 公債ノ消化ニ關シ
テ御質問デゴザイマシタカラ御答ヘ申上ゲ
マス、御質問ニアリマシタヤウニ、本年度
即チ昭和十八年度ノ十二月迄ノ國債消化ノ
「パーセンテージ」ガ九十一・五デアリマ
シテ、昨年度十七年度ノ九十五・八、ニ比シ
マシテ相當本年度ハ成績ガ悪イヤウデゴザ
イマス、併シナガラ是ハ年度ノ途中デアリ
マス、大體一月カラ三月迄ノ第四四半期、
是ガ大體國債ノ消化ニ非常ニ消化率ノ宜イ
時ナノデアリマシテ、本年ノ一月三月ヲ
加ヘマスナラバ、相當此ノ成績ハ上昇スル
モノト考ヘテ居リマス、ソレニ致シマシテ
モ昭和十七年度ノ九十五「パーセント」八迄
達スルカドウカト云フコトハナカニ怪シ
イノデアリマシテ、元來昭和十七年度ノ九
十五「パーセント」ト云フノハ、表ニモアリ
マス通り非常ニ格段ニ飛ビ抜ケタ特別ニ消化
率ノ宜カッタ年デゴザイマシテ、連年九十「パ
ーセント」ニ達シテ居ナカッタノガ、十七年
度ニ九十五「パーセント」八ト云フヤウニ相
成ツタヤウナ譯デアリマス、ソレニ致シマシ
テモ、折角九十五「パーセント」八迄行ツタ成
績ガ、十八年度ニ相當今後又上昇シテ來ル
モノト思ヒマスガ、此處迄達シナカモ知
レナイト云フ狀態ニアリマスコトハ遺憾ナ
コトデゴザイマシテ、此ノ殘サレタル二月
三月ニ十分努力致シタイト考ヘテ居ル次第
デアリマス、今後御話ノ如ク國債ノ發行額
ト云フモノハ非常ニ巨額ニ達シ、是ノ消化
ニ關シテ何カ格段ノ方策ガアルカト云フヤ
ウナ御尋モアッタヤウニ拜承致シタノデアリ
マスガ、國債ノ消化ニ關シマシテモ、特別

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ
アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト
思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方
策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル
譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種
ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ
實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方
策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計
畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ
一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ
溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ
リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資
金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、
又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國
債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ
金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ
タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

アリマス

○政府委員(氏家武君) 國債ノ割當ニ付キ

マシテ、今後收入ノ殖エタ方面ニ力ヲ入レ

ルコトハ宜イガ、餘り收入關係ガ從來ト變

リノナイ方面ニ付テハ、考慮スルヤウニト

云フ御話デゴザイマスガ、私共モ左様ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、兎角町會長方面ノ

方々ハ、一律ニ扱フヤウナ傾向ガアルノデア

リマス、併シ私共ノ方ノ指導方針ト致シマ

シテハ、サウ云フコトハ之ヲ避ケテ、出來

ル限り收入狀態、或ハ支出ノ模様等ヲ考へ

タ上、收入ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ

方面ニ、成ルベク多ク割當ルヤウニシテ、

云フコトモドウモ事實ラシク伺フノデゴザ

イマス、初メノ日ダト思ヒマシタガ、橋本

伯爵カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ苦心ラサレルト

デハ相當收入ノ殖エタ方面モアリマスノデ、

サウ云フ方面ノ人ガ澤山イラツシヤル所デ

ハ左程デモナイヤウニ存ジマスケレドモ、

東京都デ申シマスト、舊市内ト申シマスカ、

サウ云フ方面ハ大分困ツテ居ルヤウニモ存

ケレドモ、町會長ナリ、或ハ組長アタリガ、

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ

アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト

思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方

策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル

譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種

ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ

實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方

策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計

畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ

一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ

溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ

リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、

又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國

債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ

タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

アリマス

○政府委員(氏家武君) 國債ノ割當ニ付キ

マシテ、今後收入ノ殖エタ方面ニ力ヲ入レ

ルコトハ宜イガ、餘り收入關係ガ從來ト變

リノナイ方面ニ付テハ、考慮スルヤウニト

云フ御話デゴザイマスガ、私共モ左様ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、兎角町會長方面ノ

方々ハ、一律ニ扱フヤウナ傾向ガアルノデア

リマス、併シ私共ノ方ノ指導方針ト致シマ

シテハ、サウ云フコトハ之ヲ避ケテ、出來

ル限り收入狀態、或ハ支出ノ模様等ヲ考へ

タ上、收入ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ

方面ニ、成ルベク多ク割當ルヤウニシテ、

云フコトモドウモ事實ラシク伺フノデゴザ

イマス、初メノ日ダト思ヒマシタガ、橋本

伯爵カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ苦心ラサレルト

デハ相當收入ノ殖エタ方面モアリマスノデ、

サウ云フ方面ハ大分困ツテ居ルヤウニモ存

ケレドモ、町會長ナリ、或ハ組長アタリガ、

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ

アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト

思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方

策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル

譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種

ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ

實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方

策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計

畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ

一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ

溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ

リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、

又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國

債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ

タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

アリマス

○政府委員(氏家武君) 國債ノ割當ニ付キ

マシテ、今後收入ノ殖エタ方面ニ力ヲ入レ

ルコトハ宜イガ、餘り收入關係ガ從來ト變

リノナイ方面ニ付テハ、考慮スルヤウニト

云フ御話デゴザイマスガ、私共モ左様ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、兎角町會長方面ノ

方々ハ、一律ニ扱フヤウナ傾向ガアルノデア

リマス、併シ私共ノ方ノ指導方針ト致シマ

シテハ、サウ云フコトハ之ヲ避ケテ、出來

ル限り收入狀態、或ハ支出ノ模様等ヲ考へ

タ上、收入ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ

方面ニ、成ルベク多ク割當ルヤウニシテ、

云フコトモドウモ事實ラシク伺フノデゴザ

イマス、初メノ日ダト思ヒマシタガ、橋本

伯爵カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ苦心ラサレルト

デハ相當收入ノ殖エタ方面モアリマスノデ、

サウ云フ方面ハ大分困ツテ居ルヤウニモ存

ケレドモ、町會長ナリ、或ハ組長アタリガ、

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ

アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト

思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方

策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル

譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種

ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ

實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方

策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計

畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ

一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ

溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ

リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、

又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國

債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ

タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

アリマス

○政府委員(氏家武君) 國債ノ割當ニ付キ

マシテ、今後收入ノ殖エタ方面ニ力ヲ入レ

ルコトハ宜イガ、餘り收入關係ガ從來ト變

リノナイ方面ニ付テハ、考慮スルヤウニト

云フ御話デゴザイマスガ、私共モ左様ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、兎角町會長方面ノ

方々ハ、一律ニ扱フヤウナ傾向ガアルノデア

リマス、併シ私共ノ方ノ指導方針ト致シマ

シテハ、サウ云フコトハ之ヲ避ケテ、出來

ル限り收入狀態、或ハ支出ノ模様等ヲ考へ

タ上、收入ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ

方面ニ、成ルベク多ク割當ルヤウニシテ、

云フコトモドウモ事實ラシク伺フノデゴザ

イマス、初メノ日ダト思ヒマシタガ、橋本

伯爵カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ苦心ラサレルト

デハ相當收入ノ殖エタ方面モアリマスノデ、

サウ云フ方面ハ大分困ツテ居ルヤウニモ存

ケレドモ、町會長ナリ、或ハ組長アタリガ、

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ

アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト

思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方

策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル

譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種

ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ

實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方

策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計

畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ

一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ

溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ

リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、

又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國

債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ

タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

アリマス

○政府委員(氏家武君) 國債ノ割當ニ付キ

マシテ、今後收入ノ殖エタ方面ニ力ヲ入レ

ルコトハ宜イガ、餘り收入關係ガ從來ト變

リノナイ方面ニ付テハ、考慮スルヤウニト

云フ御話デゴザイマスガ、私共モ左様ニ考

ヘテ居ルノデアリマス、兎角町會長方面ノ

方々ハ、一律ニ扱フヤウナ傾向ガアルノデア

リマス、併シ私共ノ方ノ指導方針ト致シマ

シテハ、サウ云フコトハ之ヲ避ケテ、出來

ル限り收入狀態、或ハ支出ノ模様等ヲ考へ

タ上、收入ガ段々殖エテ來ルト云フヤウナ

方面ニ、成ルベク多ク割當ルヤウニシテ、

云フコトモドウモ事實ラシク伺フノデゴザ

イマス、初メノ日ダト思ヒマシタガ、橋本

伯爵カラ御話ガアリマシタガ、非常ニ苦心ラサレルト

デハ相當收入ノ殖エタ方面モアリマスノデ、

サウ云フ方面ハ大分困ツテ居ルヤウニモ存

ケレドモ、町會長ナリ、或ハ組長アタリガ、

ニ良イ方策ガ新シクアルトハ考ヘナイノデ

アリマス、技術的ニハ色々ノ問題ガアルト

思ヒマスクレドモ、根本的ニハ從來ノ消化方

策ヲ推進シテ參ルヨリ外ナイト考ヘテ居ル

譯デアリマス、即チ國ノ資金ニ關スル諸種

ノ計畫ヲ一層適切ニ樹立致シマシテ、是ガ

實施ヲ圓滑ニシテ參ルト云フコトガ根本方

策デアルト思フノデアリマス、殊ニ資金計

畫ノ中、蓄積ニ關スル計畫ハ、即チ貯蓄ヲ

一層推進シテ參リマシテ、之ニ依リマシテ

溜ツタ資金ヲ金融機關等ノ國債ニ割當シタ

リ消化スル、又預金部ヲ初メ政府關係ノ資

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ニ充テル、

又大衆消化ト申シマスカ、隣組等ニ依ル國

債ノ直接消化、之ヲ益々推進致シマシテヤツテ

金ヲ動員致シマシテ國債ノ消化ノ萬全ヲ期シ

タリマス

○子爵米田國臣君 只今御話モゴザイマシ

タヤウニ、國債ノ消化ニ町會ナリ隣組ガ、

大變貢獻シテ居ルト云フコトハ確カダト存

ジマスガ、其ノ裏面ニ於キマシテ會長ナリ

消化ノ萬全ヲ期シタイト考ヘテ居ル次第デ

不平モ起ラナイト云フコトニナルト思ヒマス、サウ云フヤウナ確實ニ直接稅ノ如キモノニ依ッテ、政府ガ其ノ割當ヲ決定シ、町會或ハ隣組ト云フモノハ其ノ指示ニ依ッテ單ニ動クト云フコトニシマシタナラバ、今言シタヤウナ色々ナ問題ハ起ツテ來ナイト思フノデアリマス、仍テ公債、貯蓄ノ割當ヲ町會ヤ隣組ニセラレマスノハ、何ヲ根據ニシテ御決メニナッテ居ルカ伺ヒタイノデアリマス、假ニ都市民稅ト云フヤウナモノニ準據シテ居ルト云フコトデアルナラバ、是ハ私ハモツト確實ニ直接國稅ニ依ルベキモノデハナイカト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ等ノ點ニ付キマシテ御所見ヲ伺ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(氏家武君) 國債ノ隣保消化ノ割當ノ基準ニ付テノ御尋デアリマスガ、是ハ今日全國的ニ見マシテ、何ヲ基準ニスルカト云フコトハ一定シテ居ラナイノデアリマス、地方ニ依ッテ、或ハ町村民稅ヲ基準ニシテ居ル所モアリマス、或ハ町會部落會費ト云ヤウナモノヲ基準ニシテ居ル所モアリ、從來ノ戸數割ノ割當ノヤウナモノヲ參考ニシテ居ル所モアリマス、是ハ私共ノ考ト致シマシテハ、今ドンナニ研究シテ見テモ、全國ヲ一律ニ斯ウ云フ標準デヤレト、斯ウ云フヤウナ案ハ逆モ見付カラナイ、從來モ戸數割或ハ只今ヤッテ居リマス町村民稅、斯ウ云フモノモ元ハ何カモットヽハッキリシタ基準ガアレバ、ソレニ依ッテヤルノガ宜カッタラウト思フノデアリマスケレドモ、餘り適當ナモノガ見付カラナイ爲ニ色々ナ非難モアルヤウデアリマス、ソレ等ヨリモ金額ノ大キイ國債消化デアリマスルカラ、其ノ基準ヲ決メルト云フコトガ益々ムツカシクナッテ

來ルノデアリマス、金額ガ少イウチハ簡單コッチデ不平モ起サナイヤウデアリマスガ、段々金額モ大キクナッテ來ルノデアリマスカラ、此ノ割當ト云フモノモ餘程ムツカシクナッテ參ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方トシマシテハ、基準トシテハ何デモ宜シイ、其ノ地方ノ實情ニ依ッテ考ヘテ戴キタイ、ソレデ民稅ヲ基準ニスル、或ハ直接國稅ノヤウナモノヲ参考ニスル、或ハ農村デアリマスルト耕作段別ヲ基準ニスル、何デモ宜シイノデアリマスガ、唯ドウシテモソレダケノ基準デアリマスガ、モ行ケナイ時ハ、之ヲ實情ニ依ッテ相當斟酌スルコトヲ必ズヤレ、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、各地方デヤック出来テ居ル所モ多イヤウデアリマス、家族ノ數モ勿論斟酌シ、其ノ家族ニシマシテモ小サイ子供ガ多イトカ、或ハ子供ヲ上ノ學校ニ出シテ居ルトカデ、金ノ掛ル事情モアリマスレバ、サウ云フコトモ斟酌ヲスル、或ハ應召シテ居ル人ガアルトカナイトカ、其ノ他色々ナ事情ヲ採リ入レマシテサウシテシ合スル割當方ニ付テト云フノヲ、當時ノ東京府市ガ定メタモノガアルノデアリマス、是ニハ大藏省モ相當指導ヲ致シテ居ルノデシ合スル標準ヲ設ケテ居ル所ガ段々多クナツテ參リマシタ、サウ云フ所ニ行ツテ調べテ見マシテ、アナタノ方ハ何ヲ基準ニシテヤツシテ、此ノ精神ヲ汲ンデヤリマスレバ、相當立派ナ割當テガ出來ルデヤナイカト考ヘテ居ルカト聞イテモ、基準ト云フモノハ一

來ルノデアリマス、金額ガ少イウチハ簡單コッチデ不平モ起サナイヤウデアリマスガ、段々金額モ大キクナッテ來ルノデアリマスカラ、此ノ割當ト云フモノモ餘程ムツカシクナッテ參ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方トシマシテハ、基準トシテハ何デモ宜シイ、其ノ地方ノ實情ニ依ッテ考ヘテ戴キタイ、ソレデ民稅ヲ基準ニスル、或ハ直接國稅ノヤウナモノヲ参考ニスル、或ハ農村デアリマスルト耕作段別ヲ基準ニスル、何デモ宜シイノデアリマスガ、唯ドウシテモソレダケノ基準デアリマスガ、モ行ケナイ時ハ、之ヲ實情ニ依ッテ相當斟酌スルコトヲ必ズヤレ、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、各地方デヤック出来テ居ル所モ多イヤウデアリマス、家族ノ數モ勿論斟酌シ、其ノ家族ニシマシテモ小サイ子供ガ多イトカ、或ハ子供ヲ上ノ學校ニ出シテ居ルトカデ、金ノ掛ル事情モアリマスレバ、サウ云フコトモ斟酌ヲスル、或ハ應召シテ居ル人ガアルトカナイトカ、其ノ他色々ナ事情ヲ採リ入レマシテサウシテシ合スル割當方ニ付テト云フノヲ、當時ノ東京府市ガ定メタモノガアルノデアリマス、是ニハ大藏省モ相當指導ヲ致シテ居ルノデシ合スル標準ヲ設ケテ居ル所ガ段々多クナツテ參リマシタ、サウ云フ所ニ行ツテ調べテ見マシテ、アナタノ方ハ何ヲ基準ニシテヤツシテ、此ノ精神ヲ汲ンデヤリマスレバ、相當立派ナ割當テガ出來ルデヤナイカト考ヘテ居ルカト聞イテモ、基準ト云フモノハ一

來ルノデアリマス、金額ガ少イウチハ簡單コッチデ不平モ起サナイヤウデアリマスガ、段々金額モ大キクナッテ來ルノデアリマスカラ、此ノ割當ト云フモノモ餘程ムツカシクナッテ參ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方トシマシテハ、基準トシテハ何デモ宜シイ、其ノ地方ノ實情ニ依ッテ考ヘテ戴キタイ、ソレデ民稅ヲ基準ニスル、或ハ直接國稅ノヤウナモノヲ参考ニスル、或ハ農村デアリマスルト耕作段別ヲ基準ニスル、何デモ宜シイノデアリマスガ、唯ドウシテモソレダケノ基準デアリマスガ、モ行ケナイ時ハ、之ヲ實情ニ依ッテ相當斟酌スルコトヲ必ズヤレ、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、各地方デヤック出来テ居ル所モ多イヤウデアリマス、家族ノ數モ勿論斟酌シ、其ノ家族ニシマシテモ小サイ子供ガ多イトカ、或ハ子供ヲ上ノ學校ニ出シテ居ルトカデ、金ノ掛ル事情モアリマスレバ、サウ云フコトモ斟酌ヲスル、或ハ應召シテ居ル人ガアルトカナイトカ、其ノ他色々ナ事情ヲ採リ入レマシテサウシテシ合スル割當方ニ付テト云フノヲ、當時ノ東京府市ガ定メタモノガアルノデアリマス、是ニハ大藏省モ相當指導ヲ致シテ居ルノデシ合スル標準ヲ設ケテ居ル所ガ段々多クナツテ參リマシタ、サウ云フ所ニ行ツテ調べテ見マシテ、アナタノ方ハ何ヲ基準ニシテヤツシテ、此ノ精神ヲ汲ンデヤリマスレバ、相當立派ナ割當テガ出來ルデヤナイカト考ヘテ居ルカト聞イテモ、基準ト云フモノハ一

來ルノデアリマス、金額ガ少イウチハ簡單コッチデ不平モ起サナイヤウデアリマスガ、段々金額モ大キクナッテ來ルノデアリマスカラ、此ノ割當ト云フモノモ餘程ムツカシクナッテ參ルノデアリマス、ソレデ私共ノ方トシテハ、基準トシテハ何デモ宜シイ、其ノ地方ノ實情ニ依ッテ考ヘテ戴キタイ、ソレデ民稅ヲ基準ニスル、或ハ直接國稅ノヤウナモノヲ参考ニスル、或ハ農村デアリマスルト耕作段別ヲ基準ニスル、何デモ宜シイノデアリマスガ、唯ドウシテモソレダケノ基準デアリマスガ、モ行ケナイ時ハ、之ヲ實情ニ依ッテ相當斟酌スルコトヲ必ズヤレ、斯ウ云フコトニシテ居ルノデアリマス、各地方デヤック出来テ居ル所モ多イヤウデアリマス、家族ノ數モ勿論斟酌シ、其ノ家族ニシマシテモ小サイ子供ガ多イトカ、或ハ子供ヲ上ノ學校ニ出シテ居ルトカデ、金ノ掛ル事情モアリマスレバ、サウ云フコトモ斟酌ヲスル、或ハ應召シテ居ル人ガアルトカナイトカ、其ノ他色々ナ事情ヲ採リ入レマシテサウシテシ合スル割當方ニ付テト云フノヲ、當時ノ東京府市ガ定メタモノガアルノデアリマス、是ニハ大藏省モ相當指導ヲ致シテ居ルノデシ合スル標準ヲ設ケテ居ル所ガ段々多クナツテ參リマシタ、サウ云フ所ニ行ツテ調べテ見マシテ、アナタノ方ハ何ヲ基準ニシテヤツシテ、此ノ精神ヲ汲ンデヤリマスレバ、相當立派ナ割當テガ出來ルデヤナイカト考ヘテ居ルカト聞イテモ、基準ト云フモノハ一

來ルノデアリマス、金額ガ少イウチハ簡單

出来マセヌ、今日迄三年モ五年モ隨分ト苦勞ヲ重ネタノデ、マアヤット斯ウ云フモノニナリマシタ、斯ウ云フヤウナコトヲ答ヘ

ニナリマシタ、實際ニ當テ居リマス町會長ト結合從來主ニ増稅シテ居ツタ者ニ之ヲバ負

リマス、尙今後十分注意ヲ致シテ指導シテ

行キタイト思ヒマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御答辯デハ、サウデアリマス、其ノ點カラ考ヘテ見マスヤウデアリマス、其ノ點カラ形デアリマシテ、從來隣同志居ルヤウナ形デアリマシテ、從來隣同志デ顔ノ見知リモナイ、從ツテ御互ノ懷ロ工合ト云フヤウナモノハ殆ド分ラナイ、ト云フヤウナ所ニ此ノ制度ガ始マツタノデアリマスルカラ、他ノ地方ニ比較シテ、マダノ良

マス、其ノ地方々々ノ事情ニ依シテ、ソレニ通

シタ、其ノ地方ニ即シタ基準ヲ御示ニナッテ

戴イテ結構ダト思ヒマス、鬼モ角モ確實ナ

ス、其ノ地方々々ノ事情ニ依シテ、ソレニ通

シタ、其ノ地方ニ即シタ基準ヲ御示ヲ願ヒタイト云フコトヲ希望

致シマス、チョット速記ヲ停止シテ戴キマス

○委員長(男爵東鄉安君) 速記中止

○委員長(男爵東鄉安君) 速記開始

○子爵梅園篤彦君 尚簡單デアリマスカラ、

此ノ機會ニモウ一點伺ッテ置キタイト思ビ

マス、ソレハ十八年度カラ十九年度ハ、更

ニ一層公債ノ増額ヲバ見ルト思ヒマスガ、

其ノ消化額ノ關係上、其ノ達成ハナカ

ダト云フヤウナ御話ガアリマシタ如ク、併シ講ズルガ、併シ十分ナ成果ハ期シ難イ、

シテモ、新興所得階級ニ對シテハ相當對策

ノコトヲ申サレマシタ、果シテ然ラバ速記

金收入ハ非常ニ激減シテ居ルノミナラズ、斯
擔稅力ガ頗ル弱體化シテ居リマスカラ、斯
カル者ニ專ラ負擔セシムルト云フヤウナ結
果ニナルコトハ甚ダ無理デアルト思ヒマス、
ソコデ私ノ考ヘマスルノニハ、現在賞與ヤ、
料理屋ニ於テ飲食ヲ致ス場合ニ公債ノ抱
合セラヤッテ居リマスルガ、アノ方法ヲバ此
ノ際徹底セシメマシテ、啻ニ賞與ヤ飲食等
ニ限ラズ、苟モ收入ノアル場合、或ハ飲食
ヲシタ場合、竝ニ物品ヲ購入シタ場合ニ於
テ、必ズ一定ノ率ヲ以テ公債ヲ抱合ハスト
云フコトニ致シマシタナラバ、公債ノ増額
敢ヘテ驚クニ足ラス、斯様ニ考ヘルノデア
リマスガ、斯ウ云々所迄進ンデヤル御考
ハアリマセヌデセウカ、忌憚ノナイ所ヲ一
ツ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(氏家武君) 現在公債ノ消化ト
致シマシテハ、先程理財局長カラモ御話申
上ゲマシタヤウニ、其ノ大部分ハ銀行、其
外ノ金融機關、ソレカラ大藏省ノ預金部
サウ云フ方面デ之ヲ消化シテ居ルノデアリ
マス、ソレカラ一部分ハ所謂隣保消化、下
條ノ二ト云フ規定ニ基キマシテ、土地デア
ルトカ、或ハ家屋、船舶、其ノ外ノ大口ナ
物ヲ賣ツタ所ノ賣拂ヒ代金、之ニ對シテ一部
分國債ヲ持タセルト云フヤウナコト、或ハ
只今御話ノアリマシタヤウニ、六月、十二
月邊リ賞與ヲ貰ヒマスカラ、此ノ賞與デス
ル時著ハ是非國債ヲ買フト云フ形ニシテ
貰ヒタイト云フノデ、是ハ五六年前カラ全
國的ニサウ云フ運動ヲ展開シテ、相當ノ成
績ヲ收メテ居ルノデアリマス、只今ノ御話

ノヤウニ料理屋ニ行ク、或ハ贅澤ナ物品ヲ
買フ、サウ云フヤウナ時ニ國債ヲ持タセル
方法ヲ採ツタナラバ、消化上ニ相當效果ガア
ルデヤナイカト云フヤウナコトデアリマス
ルガ、是ハ實ハ國債トカ債券デハ非常ニ不
便ナノデアリマス、サウ云フコトヲスル上
ニ不便ナノデアリマス、發行ノ時期ト申シ
マスカ、賣出シノ期間ガ決ツテ居ルト云フヤ
ウナ關係、ソレカラ金額ガ餘リ細カイノガ
ナイ、大キイノデアッテモ丁度都合ノ好イ金
額ガ揃ツテ居ラナイ、或ハ持運ビニ不便ダト
云フヤウナ關係モアリマシテ、國債ヤ債券
デハ十分ニ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナ
イノデ、今日御承知ノヤウニ貯蓄券ト云フ
モノヲ出シテ居リマス、五十錢、一圓、五圓、
十圓ト云フ四種類ノ貯蓄券ト云フモノヲ出
シテ居リマシテ、御話ノヤウニ色々ナ方面ニ
之ヲ使ツテ居ルノデアリマス、是モ各府縣ニ
依ツテ使ヒ方ハゾレドモ、違ツテ居リマスケレ
ドモ、大體物品稅ノ掛カル稍贅澤ナ物品ノ
購入、高價ナ物品ノ購入或ハ遊興飲食ノ金額
ガ一定額以上ニナルモノ、或ハ宿泊料、之モ相
當ノ高イ宿泊料ヲ出シテ泊マルト云フヤウ
ナ場合、或ハ芝居デアルトカ、其ノ外ノ入場
ニ付テ、其ノ外色々ナ記念貯蓄デアルトカ
感謝貯蓄デアルトカ、サウ云フヤウナ場合
ニ、殆ド全國各府縣デ今日此ノ貯蓄券ヲ使ツ
テ貯蓄ヲサシテ居ルヤウデアリマス、是ハ
御話ノヤウニ非常ニ切り詰メタ生活ヲシテ

午後零時八分休憩

○委員長(男爵東郷安君) 午前ノ會議ハ此
ノ程度ニ致シマシテ、午後ハ一時カラ再會
致シマス

○委員長(男爵東郷安君) 午前午後ノ會
議ヲ開キマス

○大野綠一郎君 極メテ簡單ナコトヲ私御
聽キシタイノデスケレドモ、大藏省ノ政府
委員ノ誰方デモ結構デス、今迄所謂赤字公
債、ソレカラ行賞ノ公債、今度ハ朝鮮、臺
灣、諸種ノ特別會計ノ法律モ全部一括シテ
一つノ法文ノ體裁ニシテ居リマスガ、是ハ
何カ特段ナ理由ガアルノデスカ

○政府委員(窪谷直光君) 御答へ致シマス
別ニ特段ノ理由ハゴザイマセヌノデ、唯法
律ノ件名ヲ成ルベク少ク致シマスダケノモ
ノデアリマス

○大野綠一郎君 サウ致シマスト、私共ノ
考ニ依ルト、赤字公債ハ所謂赤字公債デアッ
テ、他ノ鐵道ノ交附公債、ソレカラ其ノ他
ノ朝鮮臺灣等ニ於ケル事業ハ、何レモ所謂
生產の事業ガ大部分ト見テ宜シイ、又行賞
ノ如キモノモ是モ永年ニ瓦ルモノデアッテ、
ウ云フ關係デゴザイマスノト、ソレカラ朝
支ナイコトデアリマス、寧ロ財政上ノ常道
ナ考ヘ方カラ、各府縣トモヤッテ居ルヤウデ
アリマス、是ハ御話ノ國債ノ消化トハ少シ
便ナノデアリマスケレドモ、結局ソレノ代
リニナルヤウナ貯蓄券ヲ使ツテ、御話ト同ジ
マスカ、賣出シノ期間ガ決ツテ居ルト云フヤ
ウナ關係、ソレカラ金額ガ餘リ細カイノガ
ナイ、大キイノデアッテモ丁度都合ノ好イ金
額ガ揃ツテ居ラナイ、或ハ持運ビニ不便ダト
云フヤウナ關係モアリマシテ、國債ヤ債券
デハ十分ニ其ノ目的ヲ達スルコトガ出來ナ
イノデ、今日御承知ノヤウニ貯蓄券ト云フ
モノヲ出シテ居リマス、五十錢、一圓、五圓、
十圓ト云フ四種類ノ貯蓄券ト云フモノヲ出
シテ居リマシテ、御話ノヤウニ色々ナ方面ニ
之ヲ使ツテ居ルノデアリマス、是モ各府縣ニ
依ツテ使ヒ方ハゾレドモ、違ツテ居リマスケレ
ドモ、大體物品稅ノ掛カル稍贅澤ナ物品ノ
購入、高價ナ物品ノ購入或ハ遊興飲食ノ金額
ガ一定額以上ニナルモノ、或ハ宿泊料、之モ相
當ノ高イ宿泊料ヲ出シテ泊マルト云フヤウ
ナ場合、或ハ芝居デアルトカ、其ノ外ノ入場
ニ付テ、其ノ外色々ナ記念貯蓄デアルトカ
感謝貯蓄デアルトカ、サウ云フヤウナ場合
ニ、殆ド全國各府縣デ今日此ノ貯蓄券ヲ使ツ
テ貯蓄ヲサシテ居ルヤウデアリマス、是ハ
御話ノヤウニ非常ニ切り詰メタ生活ヲシテ

五圓ノ貯蓄ヲ併セテスルト云フコトハ、是
ハモウ當リ前ノコトデハナイカト云フヤウ

支ナイコトデアリマス、寧ロ財政上ノ常道

デアル譯デス、然ルニ此ノ赤字公債ト云フ

リ、一年度限リノ問題デアルト考ヘテ居リ

マス、ソレカラ鐵道ノ買收公債ニ付キマシ

テ、一回限リノ法律デゴザイマスノデ、サ

ウ云フ關係デゴザイマスノト、ソレカラ朝

鮮事業公債以下ノ公債ニ付キマシテハ母法ガゴザイマシテ、其ノ法律案デ以テ其ノ母法ガ改マルト云フコトニナリマシテ、其ノ母法ガ改マルト云フヤウナ恰好ニナリマスノデ、何レモ多少ノ便宜的ナ考ヘ方ヲ致シタノデハゴザイマスケレドモ、一括シテ一ツノ法律案ニ致シマシタヤウナ次第アリマス

○大野綠一郎君 今ノ御話ニ依ルト、例ヘバ朝鮮事業公債法ハ、マア寧ロ年々變テ、其ノ他ノ公債モサウデスガ、サウスルト今度此ノ法律デ直シテ、其ノ結果朝鮮事業公債法ガ直サレル結果ニナル、サウナルト非常ナ間接ニナル、マア形式的ノ問題デスガサウ云フコトニナルシ、ソレカラ實質的ニ全然違フ性質ノ公債、今ノ交付公債ナリ或ハ事業公債ト云フモノハ、全ク普通ノ財政ノ場合ニ於アモドン／＼ヤル公債デアツテ、寧ロ其ノ公債ノ多イコトガ或場合ニ於テハ事業ノ多イコトヲ示ス譯デアル、マルッキリ達フ性質ノモノヲ一條ニ規定スルト、サウ云フ便宜上、何ト言ヒマスカ、財政的良心ト言フト言葉ガ何デスガ、ドン／＼是ハ出シテモ宜イノダト、斯ウ云フ性質ノ公債ト、然ラザル公債トヲ混同スル虞ガアルト、斯ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスガ少シ諱ノデセウ

○委員長(男爵東郷安君) 案致シテ居リマス、チヨット速記ヲ止メテ……

シテ問題ニ供シ、御質問ヲ願ヒタイト思ヒテ置イテ、ソレカラ後ソレニ依ツテ朝鮮事業公債法ガ變ハル譯デゴザイマス、丁度今提

ト云フ恰好ニナリマスノデ、第一ノ點ニ付キマシテハ手續ノ煩雜ト云フコトハ起フナイト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ニ付キマシテハ、御考御尤モト存ズルノデゴザイマスガ、法律案ノ件數ヲ成ルベク少クスルト云フ風ナコトガ主ニナッテ一括致シタモノデゴザイマシテ、別ニ第一條ノ公債トソレカラ第二條以下ニ規定致シマシタ公債トガ、全然同様ノモノデアツテ幾ラデモ出シテ宜イノダト云フ風ニハ決シテ考ヘテ居ラナイノデゴザイマス、其ノ點一ツ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 解リマシタガ、今ノ例ヘバ其ノ中ノ朝鮮ノ金額ヲ直ス場合ニハ朝鮮事業法ニ依ル公債ヲ何億圓ニスルト云フノデ、此ノ法律ハ當然動イテシマフ、斯ウ云フ解釋デスカ、是ハ今度ノ十九年度云々ノ法律、此ノ法律ハ之ヲ改正スルト云フ案ハ提案セズニ、事業公債法ヲ何億圓ニスルト云フ金額ヲ直スダケデ宜シトイ、斯ウ云フ譯デスカ

○政府委員(窪谷直光君) 今御尋ノ保険金ノ支拂アタリガ、一ツノ勘定デ足リナクナリマシタ場合ニ、外ノ勘定カラ持ツテ來ルカト云フ御尋デゴザイマスガ、其ノ點ハ致シマセヌ、勘定ト申シマスノハ一ツノ特別會計ノ中ノ小會計ト云フ風ニ御考ヘ願ヘレバ結構カト思ヒマス、ソレヲ斯ウ云フ風ニ致シマシタ。主タル狙ヒハ、保険金ノ支拂アタリハ各勘定別ニソレハ、嚴密ニ計算ヲ致シマス、唯事務費ノ取扱ヒニ付キマシテハ、是ハ厚生省ニ於キマシテハ、大體同ジ課デ取扱ツテ居リマス、ソレカラ地方廳ニ於キマシテモ大體同ジ所デ取扱ツテ居リマス爲ニ、人モ一應今迄ノ建前デハ、此ノ者ハ健康保險特別會計ノ所屬ダ、其ノ向ヒ側ニ坐ツテ居ルノハ他ノ會計ノ所屬ダ、ト云フヤウナ一應區分ハ致シテ居リマスケレドモ、實際ノ經理ノ實情ニモ副ヒマセヌノト、會計ガ數箇ニ

非常ニ人手ガ減少シテ參リマシタガ、其ノ爲ニ

ウ云フ風ナモノニ對應致ス爲ニモ、此ノ會

シマス場合ニハ、先づ此ノ法律ヲ一遍變ヘ

ルト云フヤウナ恰好ニナリマスノデ、何レモ多少ノ便宜的ナ考ヘ方ヲ致シタノデハゴザイマスケレドモ、一括シテ一ツノ法律案ニ致シマシタヤウナ次第アリマス

○大野綠一郎君 今ノ御話ニ依ルト、例ヘ

バ朝鮮事業公債法ハ、マア寧ロ年々變テ、其

ノ他ノ公債モサウデスガ、サウスルト今度

此ノ法律デ直シテ、其ノ結果朝鮮事業公債

法ガ直サレル結果ニナル、サウナルト非常

ナ間接ニナル、マア形式的ノ問題デスガサ

ウ云フコトニナルシ、ソレカラ實質的ニ全

然違フ性質ノ公債、今ノ交付公債ナリ或ハ

事業公債ト云フモノハ、全ク普通ノ財政ノ

場合ニ於アモドン／＼ヤル公債デアツテ、寧

ロ其ノ公債ノ多イコトガ或場合ニ於テハ事

業ノ多イコトヲ示ス譯デアル、マルッキリ達

フ性質ノモノヲ一條ニ規定スルト、サウ云

フ便宜上、何ト言ヒマスカ、財政的良心ト

言フト言葉ガ何デスガ、ドン／＼是ハ出シ

テモ宜イノダト、斯ウ云フ性質ノ公債ト、

然ラザル公債トヲ混同スル虞ガアルト、斯

ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスガ少シ諱

ノデセウ

○政府委員(窪谷直光君) 初メノ第一點ノ

今後改正致シマス場合ニ非常ニ間接的ニナ

ルデヤナイカト云フ風ナ御意見デゴザイマ

スガ、此ノ點デハサウデハゴザイマセヌノ

デ、將來、例ヘバ朝鮮事業公債法ヲ改正致

シマス場合ニハ、先づ此ノ法律ヲ一遍變ヘ

ルト云フヤウナ恰好ニナリマスノデ、何レ

モ多少ノ便宜的ナ考ヘ方ヲ致シタノデハゴ

ザイマスケレドモ、一括シテ一ツノ法律案

ニ致シマシタヤウナ次第アリマス

○大野綠一郎君 今ノ御話ニ依ルト、例ヘ

バ朝鮮事業公債法ハ、マア寧ロ年々變テ、其

ノ他ノ公債モサウデスガ、サウスルト今度

此ノ法律デ直シテ、其ノ結果朝鮮事業公債

法ガ直サレル結果ニナル、サウナルト非常

ナ間接ニナル、マア形式的ノ問題デスガサ

ウ云フコトニナルシ、ソレカラ實質的ニ全

然違フ性質ノ公債、今ノ交付公債ナリ或ハ

事業公債ト云フモノハ、全ク普通ノ財政ノ

場合ニ於アモドン／＼ヤル公債デアツテ、寧

ロ其ノ公債ノ多イコトガ或場合ニ於テハ事

業ノ多イコトヲ示ス譯デアル、マルッキリ達

フ性質ノモノヲ一條ニ規定スルト、サウ云

フ便宜上、何ト言ヒマスカ、財政的良心ト

言フト言葉ガ何デスガ、ドン／＼是ハ出シ

テモ宜イノダト、斯ウ云フ性質ノ公債ト、

然ラザル公債トヲ混同スル虞ガアルト、斯

ウ云フ風ニ私ハ考ヘテ居リマスガ少シ諱

ノデセウ

○政府委員(窪谷直光君) 本法律ニ關シテ尙御質疑ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌケレバ次ニ移リタイト思ヒマス、次ハ學校特別會計法案以下、國有財產整理資金特別會計法外三法律ノ廢止ニ關スル法律案迄七件、是ハ御覽ノ如ク特別會計ノ改廢又ハ整

理統合ニ關スル案デアリマスガ、之ヲ一括

テ置イテ、ソレカラ後ソレニ依ツテ朝鮮事業公債法ガ變ハル譯デゴザイマス、丁度今提

ト云フ恰好ニナリマスノデ、第一ノ點ニ付

キマシテハ手續ノ煩雜ト云フコトハ起フナ

イト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二ノ點ニ付

キマシテハ、御考御尤モト存ズルノデゴ

ザイマスガ、法律案ノ件數ヲ成ルベク少ク

スルト云フ風ナコトガ主ニナッテ一括致シ

タモノデゴザイマシテ、別ニ第一條ノ公債

トソレカラ第二條以下ニ規定致シマシタ公

債トガ、全然同様ノモノデアツテ幾ラデモ出

シテ宜イノダト云フ風ニハ決シテ考ヘテ居ラ

ナイノデゴザイマス、其ノ點一ツ御了承ヲ

トナカルノデスカ、相融通スル、例ヘバ保

險金額ノ支拂ガ非常ニ多クナッテ足リナク

譯デスガ、勘定ニナッタ場合ニハドウ云フコ

トニナルノデスカ、相融通スル、例ヘバ保

金アタリヲ片方デ足リナクナッタカラ、片方

リマセヌ、從ヒマシテソレハ、事業ノ剩餘

多ク健康保険ノ分ハ、健康新規ノ分ノ勘定ニ

所屬シテ積立金トシテ經理ヲシテ參ル、從ツ

カラ持ツテ來ルト云フヤウナコトハ考ヘテ居

リマセヌ、是モナカル譯デゴザイマスガ、是モ

勘定ニ區分スルトスウアリマスガ、此ノ勘

定ノ區分ト云フノハ從前ハ特別會計ニナッ

テ、ソレハ彼此相融通スルコトガナカツタ

譯デスガ、勘定ニナッタ場合ニハドウ云フコ

トニナルノデスカ、相融通スル、例ヘバ保

險金額ノ支拂ガ非常ニ多クナッテ足リナク

譯デスカ、勘定ニナッタ場合ニハドウ云フコ

トニ

計ノ整備ヲヤルト云フコトデアリマシテ、申シマスレバ寧ロ人手ノ簡約ノ方ガ先ニナリマシテ、唯是ハ議會ノ御協賛ヲ經マス關係ガアリマスノデ、今日提案致シマスヤウナ恰好ニ相成ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ後民間ノ方ニ於テドウ云フ風ナ手續ノ點ガ減少スルカト云フ點デゴザイマスガ、是ハ主トシテ被保險者ノ方ノ保險料ノ支拂ト云フヤウナ所ガ、非常ニ大キナ影響ノアル所デヤナイカト思ヒマスガ、是ハ色々研究ヲ致シテ見タノデアリマスケレドモ、例ヘバ健康保険ト、今度ハ厚生年金保險ニナリマスガ、是ノ被保險者ガ大體ト云フノハ少シ言ヒ過ギカモ知レマセヌガ、半分以上ノ者ハ大體同ジ被保險者ヲ對象ニシテ居ルト云フ風ナコトデ、別々ニ今迄ハ會計ニソレゾレ保險料ヲ納付シテ居ツタ譯デアリマス、今年一ツノ會計ニナリマスト、一ツノ會計ニナリマシテモ勘定ガ分レテ居リマス爲ニ、庶幾致シマシタ結果ヲナカヽ今日得ラレナイノデ、目下研究ハ致シテ居リマスケレドモ、ドノ程度簡素化ニナリマスカ、マダチヨット見込ガ付イテ居ラヌノデアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 此ノ件ニ付テ別段御質問ゴザイマセケレバ、次ノ臨時資金調整法中改正法律案、之ニ移リマス
ヨット御尋ネシタインデアリマス、一番最初ニ御尋ネ申上ゲマスノハ、十條ノ九ノ場合デゴザイマスガ、此ノ十條ノ九ニ今度規定サレルヤウニナツテ居リマスヤウナ、長期ノ預金ナリ貯金アリノ期限前拂戻ト申シマスカ、又中途解約ト云フヤウナコトハ、現在モ預金者ト金融機關トノ話合ニ依ツテ相當行ハレテ居ルノデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、今度此ノ資金調整法ナリ、又ソレニ基ク命令ガ施行サレルコトニナリマスト云フト、今迄ノヤウナ當事者同志ノ話合ニ依ル期限前拂戻ト云フヤウナコトハ、一切御認メニナラヌコトニナルノデゴザイマセウカドウカト云フコトガ一、モウ一ツハ、茲ニ又中途拂戻ヲヤッタ爲ニ金融機關ガ損害ヲ蒙レバ、之ニ對シテ損失ノ補償ヲスルカ、又補助金ヲ交付スルト云フヤウナ規定ガアルヤウデゴザイマスガ、サウ云フ場合ガ實際アルノデゴザイマセウカ、チョット考ヘラレナイヤウナ氣ガスルノデゴザイマス、例ヘバ相當纏ツタ大キナ金ヲ長期ノ預金トシテ預ツテ居ツタ云フヤウナ場合ニ、ソレヲ期限前ニ拂戻ヲシナケレバナラスト云フコトニナリマスト、金融機關トシテハ其ノ長期ノ資金ヲ運用シテ得ベカリシ豫定ノ運用益ハ得ラレナカッタ、謂ハバ消極的ノ損害ハアルカモ知レマセヌケレドモ、積極的ニ損害ヲ受ケタトハ言ヘナイデヤナイカ、或ハ又或地方ノ全體ニ大キナ災害ガアッタ、其ノ爲ニ相當其ノ銀行ナラ銀行ガ預金ヲ殆ド全額ニ近イモノヲ拂出ラシナケレバナラカッタ云フヤ

ウナコトヲ考ヘマスト、勿論其ノ預金ノ拂戻ノ資金トシテ、當初ノ資金計畫ニハ豫定シテナカッタヤウナ拂戻資金ヲ調達スル爲ニ、
借入金ヲシナケレバナラスト云フヤウナコトガ考ヘラレマスカラ、サウスルト借入金ノ利息ノ負擔ト云フヤウナ問題ガ起リマスケレドモ、サウ云フヤウナ大キナ災害ガ起ツタヤウナ場合ニハ、預金ノ拂戻ト同時ニ新規ノ貸出ト云フ要求モ相當ニアルノデヤニアカ、サウスルトソレ等ノ預金拂戻ノ爲ニ資金トシテ調達シタ金方、或ハ新規ノ貸出ノ爲ノ金カト云フコトハ、ナカノ実際問題トシテハ分リニクイヂヤナイカ、尙又預金ノ拂戻デアルカラ、預ッタ限度以上ノモノヲ拂戻スノデヤナイト云フコトヲ考ヘマスト、斯ウ云フ爲ニ金融機關ニ損害ガ生ジタト云フヤウナ場合ハチヨット思ハレナイノデゴザイマスガ、何カサウ云フ場合ガ考ヘラレマスノデゴザイマセウカ、其ノニツノ點ニ付テ伺ヒマス

思フノデアリマス、併シ此ノ規定ガ出來マシタ以上ハ、コチラデ行ク方ガ行キ宜イノデアリマスルカラ、大體ハコチラノ方ガ適用ニナルノデヤナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、ソレカラ此ノ規定ニ損失ノ補償、補助金ノ場合ヲ豫想シテ居ルヤウデアルガ、普通ハ考ヘラレナイデヤナイカ、斯ウ云フ御話デゴザイマスガ、私共モ斯様ナコトハ滅多ニ起ラヌコトデアルト思ツテ居リマス、ケレドモ一地方ニ瓦ル相當ノ災害、例ヘバ空襲デモアツタ云フヤウナ場合ニ、纏ツタ金ヲ拂戻シテヤラナケレバナラスト云フヤウナ時ニ於キマシテハ、全然金融機關側ニ於テ損失ハナカツタノグトモ言ヒ切レナイト思フノデアリマス、長期ノ預金ト短期ノ預金デハ利率ナドモ變ツテ居ルノガ普通デアリマスルカラ、相當長期ニ預ツタ積リデ居シタモノガ、何カノ都合テ極メテ短期ノモノニナツテシマッタ云フヤウナ場合、而モソレガ少シバカリノ金額ナラバ大シタ問題ニモナラナイノデアリマスガ、相當纏ツテ起シタト云フヤウナ場合ニハ、矢張リ斯ウ云フ規定ヲ置イテ、サウシテ事情ニ依ツテ幾分デモ見テヤルト云フ方ガ適當デヤナイカ、斯様ニ考ヘタ次第アリマス

ト云フヤウナ結果ニナリマス爲ニ、勿論是ダケノ原因ダトハ思ヒマセヌケレドモ、往物ヲ手放スコトヲ厭ガル風ガアルノデヤナイカ、其ノ爲ニ軍需生産ニ必要ナ工場ノ用地ノ買收ダトカ、又食糧増産ノ爲ニ農地ヲ造成スル時ニ、其ノ農地造成ノ素地トナル土地ノ買收トカト云フコトニ、色々々支障ガ起ルト云フヤウナコトヲチヨイ／＼聞イテ居リマス、勿論農村ノ人ノ土地ニ對スル愛著心ト云フモノハ特別ノモノガゴザイマスカラ、此ノ資金封鎖ノ爲バカリニサウ云フコトニアルノダトハ思ヒマセヌケレドモ、知ラズ識ラズノ間ニ斯ウ云フコトカラ、自分ガ現在利用シテナクトモ、之ヲ手放スコトガ何トナク厭ダト云フヤウナ氣分ガアルノデヤナイト云フヤウナ感ジガスルノデアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ衆議院ノ委員會デモ御話ガ出テ居ツタヤウデアリマス、速記錄ヲ通ジテ國民貯蓄局長ノ御答辯モ拜見シテ居ルノデアリマスガ、結局サウ云フ者ニ對シテハ時局ノ認識ヲ一層深メサセテ、貯蓄心ヲ向上サセル以外ニ方法ガナイト云フヤウナ御答辯デアッタ思フノデアリマスガ、煎ジ詰メレバサウ云フコトニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガアレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス

○政府委員(氏家武君) 貯蓄ノ推進方段々
○政府委員(氏家武君) 今日國債債券ニ付
賄蓄ニ振向ケサセラレルノデ、使フコトガ
出来ナカラト云フノデ、勵カナイヤウニ
ナリハセヌカトカ、或ハ折角取ッタ金ヲ持ツ
テ居ルト貯蓄ノ方ニ振向ケサセラレルノデ
アルカラ、サッサト使ツテシマッタ方ガ宜イト
云フノデ、消費ヲ却テ促進スルノデヤナイ
カ、トカト云フヤウナコトガ能ク言ハレル
ノデアリマス、只今御話ノ第十條ノ二ノヤ
ウナ規定ヲ以テ賣却代金等ヲ封鎖スルヤウ
ナ手段ヲ採レバ、自然賣ルコトヲ厭ガルヤ
ウニナル、其ノ爲ニ國家ナリ、或ハ時局下
重要ナ事業ヲ經營スル人ガ手ニ入レタイト
思フ物ガ、容易ニ手ニ入ラナイヤウニナル
デヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御心配デアリ
マスガ、多少サウ云フヤウナコトガ起ルトモ
考へ得ルノデアリマス、併シ是ハ衆議院デ
モ同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス
ケレドモ、サレバト云ツテ貯蓄ノ方ノ手ヲ緩
メルト云フヤウナコトハ出來ナイト思フノ
デアリマス、從ヒマシテドウシテモ國民ニ
時局ト云フモノヲ認識サセ、貯蓄ノ必要ナ
コトヲ心カラ悟ラセルト云フゴトヨリ外ニ
ナイト思フノデアリマス、此ノ爲ニ特別ナ
時局認識、貯蓄ノ必要性ヲ徹底サセル方法
ト云フモノハ、特ニハ考ヘテ居ラナインデ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 貯蓄ノ推進方段々
○大野綠一郎君 私詳シイコトヲ知リマセ
ルノデヤナイト云フヤウナ感ジガスルノ
デアリマス、此ノ問題ニ付キマシテハ衆議
院ノ委員會デモ御話ガ出テ居ツタヤウデア
リマス、速記錄ヲ通ジテ國民貯蓄局長ノ御
答辯モ拜見シテ居ルノデアリマスガ、結局
サウ云フ者ニ對シテハ時局ノ認識ヲ一層深
メサセテ、貯蓄心ヲ向上サセル以外ニ方法
ガナイト云フヤウナ御答辯デアッタ思フ
ノデアリマスガ、煎ジ詰メレバサウ云フコ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 貯蓄ノ推進方段々
○大野綠一郎君 此ノ十條ノ十一デスガ、
低價貿漁ト云フノハドウ云フコトニナルノ
デスカ、低價ニ賣ッタ云フノハソレニ當ル
ノデスカ、是ハ罰則ガクッ付イテ居ルノデス
カ

出来ナカラト云フノデ、勵カナイヤウニ
ナリハセヌカトカ、或ハ折角取ッタ金ヲ持ツ
テ居ルト貯蓄ノ方ニ振向ケサセラレルノデ
アルカラ、サッサト使ツテシマッタ方ガ宜イト
云フノデ、消費ヲ却テ促進スルノデヤナイ
カ、トカト云フヤウナコトガ能ク言ハレル
ノデアリマス、只今御話ノ第十條ノ二ノヤ
ウナ規定ヲ以テ賣却代金等ヲ封鎖スルヤウ
ナ手段ヲ採レバ、自然賣ルコトヲ厭ガルヤ
ウニナル、其ノ爲ニ國家ナリ、或ハ時局下
重要ナ事業ヲ經營スル人ガ手ニ入レタイト
思フ物ガ、容易ニ手ニ入ラナイヤウニナル
デヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御心配デアリ
マスガ、多少サウ云フヤウナコトガ起ルトモ
考へ得ルノデアリマス、併シ是ハ衆議院デ
モ同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス
ケレドモ、サレバト云ツテ貯蓄ノ方ノ手ヲ緩
メルト云フヤウナコトハ出來ナイト思フノ
デアリマス、從ヒマシテドウシテモ國民ニ
時局ト云フモノヲ認識サセ、貯蓄ノ必要ナ
コトヲ心カラ悟ラセルト云フゴトヨリ外ニ
ナイト思フノデアリマス、此ノ爲ニ特別ナ
時局認識、貯蓄ノ必要性ヲ徹底サセル方法
ト云フモノハ、特ニハ考ヘテ居ラナインデ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 貯蓄ノ推進方段々
○大野綠一郎君 此ノ十條ノ十一デスガ、
低價貿漁ト云フノハドウ云フコトニナルノ
デスカ、低價ニ賣ッタ云フノハソレニ當ル
ノデスカ、是ハ罰則ガクッ付イテ居ルノデス
カ

出来ナカラト云フノデ、勵カナイヤウニ
ナリハセヌカトカ、或ハ折角取ッタ金ヲ持ツ
テ居ルト貯蓄ノ方ニ振向ケサセラレルノデ
アルカラ、サッサト使ツテシマッタ方ガ宜イト
云フノデ、消費ヲ却テ促進スルノデヤナイ
カ、トカト云フヤウナコトガ能ク言ハレル
ノデアリマス、只今御話ノ第十條ノ二ノヤ
ウナ規定ヲ以テ賣却代金等ヲ封鎖スルヤウ
ナ手段ヲ採レバ、自然賣ルコトヲ厭ガルヤ
ウニナル、其ノ爲ニ國家ナリ、或ハ時局下
重要ナ事業ヲ經營スル人ガ手ニ入レタイト
思フ物ガ、容易ニ手ニ入ラナイヤウニナル
デヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御心配デアリ
マスガ、多少サウ云フヤウナコトガ起ルトモ
考へ得ルノデアリマス、併シ是ハ衆議院デ
モ同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス
ケレドモ、サレバト云ツテ貯蓄ノ方ノ手ヲ緩
メルト云フヤウナコトハ出來ナイト思フノ
デアリマス、從ヒマシテドウシテモ國民ニ
時局ト云フモノヲ認識サセ、貯蓄ノ必要ナ
コトヲ心カラ悟ラセルト云フゴトヨリ外ニ
ナイト思フノデアリマス、此ノ爲ニ特別ナ
時局認識、貯蓄ノ必要性ヲ徹底サセル方法
ト云フモノハ、特ニハ考ヘテ居ラナインデ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 貯蓄ノ推進方段々
○大野綠一郎君 此ノ十條ノ十一デスガ、
低價貿漁ト云フノハドウ云フコトニナルノ
デスカ、低價ニ賣ッタ云フノハソレニ當ル
ノデスカ、是ハ罰則ガクッ付イテ居ルノデス
カ

出来ナカラト云フノデ、勵カナイヤウニ
ナリハセヌカトカ、或ハ折角取ッタ金ヲ持ツ
テ居ルト貯蓄ノ方ニ振向ケサセラレルノデ
アルカラ、サッサト使ツテシマッタ方ガ宜イト
云フノデ、消費ヲ却テ促進スルノデヤナイ
カ、トカト云フヤウナコトガ能ク言ハレル
ノデアリマス、只今御話ノ第十條ノ二ノヤ
ウナ規定ヲ以テ賣却代金等ヲ封鎖スルヤウ
ナ手段ヲ採レバ、自然賣ルコトヲ厭ガルヤ
ウニナル、其ノ爲ニ國家ナリ、或ハ時局下
重要ナ事業ヲ經營スル人ガ手ニ入レタイト
思フ物ガ、容易ニ手ニ入ラナイヤウニナル
デヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御心配デアリ
マスガ、多少サウ云フヤウナコトガ起ルトモ
考へ得ルノデアリマス、併シ是ハ衆議院デ
モ同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス
ケレドモ、サレバト云ツテ貯蓄ノ方ノ手ヲ緩
メルト云フヤウナコトハ出來ナイト思フノ
デアリマス、從ヒマシテドウシテモ國民ニ
時局ト云フモノヲ認識サセ、貯蓄ノ必要ナ
コトヲ心カラ悟ラセルト云フゴトヨリ外ニ
ナイト思フノデアリマス、此ノ爲ニ特別ナ
時局認識、貯蓄ノ必要性ヲ徹底サセル方法
ト云フモノハ、特ニハ考ヘテ居ラナインデ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 今日國債債券ニ付
賄蓄ニ振向ケサセラレルノデ、使フコトガ
カ

出来ナカラト云フノデ、勵カナイヤウニ
ナリハセヌカトカ、或ハ折角取ッタ金ヲ持ツ
テ居ルト貯蓄ノ方ニ振向ケサセラレルノデ
アルカラ、サッサト使ツテシマッタ方ガ宜イト
云フノデ、消費ヲ却テ促進スルノデヤナイ
カ、トカト云フヤウナコトガ能ク言ハレル
ノデアリマス、只今御話ノ第十條ノ二ノヤ
ウナ規定ヲ以テ賣却代金等ヲ封鎖スルヤウ
ナ手段ヲ採レバ、自然賣ルコトヲ厭ガルヤ
ウニナル、其ノ爲ニ國家ナリ、或ハ時局下
重要ナ事業ヲ經營スル人ガ手ニ入レタイト
思フ物ガ、容易ニ手ニ入ラナイヤウニナル
デヤナイカ、斯ウ云フヤウナ御心配デアリ
マスガ、多少サウ云フヤウナコトガ起ルトモ
考へ得ルノデアリマス、併シ是ハ衆議院デ
モ同ジヤウナコトヲ申上ゲタノデアリマス
ケレドモ、サレバト云ツテ貯蓄ノ方ノ手ヲ緩
メルト云フヤウナコトハ出來ナイト思フノ
デアリマス、從ヒマシテドウシテモ國民ニ
時局ト云フモノヲ認識サセ、貯蓄ノ必要ナ
コトヲ心カラ悟ラセルト云フゴトヨリ外ニ
ナイト思フノデアリマス、此ノ爲ニ特別ナ
時局認識、貯蓄ノ必要性ヲ徹底サセル方法
ト云フモノハ、特ニハ考ヘテ居ラナインデ
トニナルカト思ヒマスケレドモ、ソレヲ具
體的ニドウ云フ風ニシテ、サウ云フ人々ノ
啓發スルカト云フコトニ付テ、何カ御考ガ
アレバ、モウ少シ具體的ニ、斯ウ云フヤウ
ニヤツタナラバ宜イデヤナイカ、ト云フヤウ
ナコトヲ伺ヘレバ仕合セト思ヒマス
○政府委員(氏家武君) 今日國債債券ニ付
賄蓄ニ振向ケサセラレルノデ、使フコトガ
カ

組長ト云フヤウナ人デナク、銀行ノ窓口トカ郵便局ノ窓口、サウ云フ所^レ說法ヲシテ居ルノデアリマスガ、中ニハソコト履達ヘマシテ、人ノ大勢居ル中^レ厭ナコトマス

對止メテ貰ヒタイト、斯ウ云フコト^レ指導ヲ言ツタリスルモノガアルヤニ聞イテ居ルノデアリマス、十分注意シテ行ク積リデアリマス

○大野綠一郎君 能ク御承知ノヤウデスカラ誇ク申上ゲマセヌガ、今ノ低價買漁ノ取締トカ禁止トカ云フヨリモ、今ノ御話ノヤニ持ツテ行シテ餘儀ナク金ニ換ヘナケレバ安クテモ宜イカラト云フノデ、ソレヲ又目指シテヤルト云フコトニナルノデ、ドウカ其ノ適當ナ値段^レモノガカラ仕様ガナイノデ、コトヲ餘り窮屈ニ言ハヌデ、能ク透徹スルヤウニ御取計ヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豊君) 御話能ク了承致シ情モアリマシテ、低價買漁、買ハレナイト云フヤウナコトニ鑑ミマシテ、昨年新シケ買上制度ハズット以前カラアツタ譯デアリマス、併シサウ云ツタヤウナ御話ノヤウナ事

御協賛ヲ得マシテ、全國ノ金融機關ヲシテ買ハシメル、斯ウ云フ新シイ制度ヲ設ケマシテ、ソレヲ實施シマシタノガ昨年十月デテナイ關係モアリマス、十月カラ十二月迄ニ約二千萬圓許リノ買上額ガアリマスガ、

サウ云フ制度ガ段々徹底致シマシタ、又御

致シテ居ルノデアリマスガ、中ニハソコト

テ言ツタリスルモノガアルヤニ聞イテ居ルノ

デアリマス、十分注意シテ行ク積リデアリマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一
點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ對シテハ新證券ヲバ交付セナイト云フ其ノ理由ニ付テ御説明願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(田中豊君) 御尤ナ御尋デゴザイマス、此ノ國債ニ付キマシテ特ニ斯ウ云フ法律ヲ制定致シマシテ、新證券ヲ交付スルトカ其ノ他之ニ代ハルベキ措置ヲ執ルト云フヤウナコトニ致シマシタノハ、現在ノゴザイマス、先づ此ノ金融機關ニ於テ比較的安ク買取ル、ト云フ制度ガ、周知サレテナイ關係モアリマス、十月カラ十二月迄ニ約二千萬圓許リノ買上額ガアリマスガ、

利子ヲ拂フ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ

確實ナ擴保ヲ提供シタリ或ハ保證人ヲ立テ

マシテ元利金ノ支拂ハ受け得ルヤウニ相成ツ

テ居ルノデアリマス、併シナガラ只今申シ

マシタヤウニ期限ガ來テ、元利金ノ支拂ヲ受ケルダケデアリマシテ、新シク代リ證券ヲ出スヤウナ措置ガ出來ナイコトニ相成ツテ居リマス、出來ナイト申シマスノハ、結局現在ノ法規ニ依リマシテ公示催告ノ手續等ノ規定ガ國債ニ適用ニチツテ居ナイノデアリマス、其ノ適用ヲ排除致シテ居リマシテ、從テ只今申シタヤウナ元利金ノ支拂金ガ救助手段デアリマシテ、代リノ新シイ證券ヲ交付スルト云フヤウナ手段ガアリマセヌ、ソレニハ國債ノ所有者ノ保譯ニ缺クル所ガアルト云フ觀點カラ本法規ヲ設ケムトスルモノデアリマス、御尋ノ社債ニ付キマシテハ公示催告其ノ他ノ手續ニ依ツテ、新シイ證券ヲ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

スルト云フ程度ノ專賣デハ不徹底デヤナカ

ラウカ、寧ロ是ハサウ云フ大キナ需要ガ目

造事業ノ内容ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス

ガ、現在ノ王子ノ設備、三島製紙ノ設備ト

云フヤウナ、サウ云フモノノ設備ダケデ以

トハ出來ナイコトト思ヒマス、是ハ矢張リ

政府ノ直營トシテ設備ヲ擴張シ、完備スル

テハ、到底今申シマシタヤウナ大東亞共榮

造ヲバ政府ニ於テ收納スルト云フ程度ノ專賣局ノ直營トスベキモノデアルト思フノ

デアリマス、私モ多少「ライスペー・バー」製

ペー・バー」ノ需要ヲ充タスト云フヤウナコ

○政府委員(清田幸雄君)

煙草用卷紙ノ專

マコトヲバ御見越ニナツテ居ルコトト思ヒマス、仄聞スル所ニ依リマスト、支那、南方、

所謂大東亞共榮圈ニ於ケル煙草ノ需要量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデゴザイマセウニシテ參リタイト思ヒマス

注意ノヤウナ點モ今後モ十分取扱機關ヲシテ注意サシテ、低價買漁ノコトガナクナルヤウニシテ參リタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一

點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ付キマシテハ新證券ヲバ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

スルト云フ程度ノ專賣デハ不徹底デヤナカ

ラウカ、寧ロ是ハサウ云フ大キナ需要ガ目

造事業ノ内容ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス

ガ、現在ノ王子ノ設備、三島製紙ノ設備ト

云フヤウナ、サウ云フモノノ設備ダケデ以

トハ出來ナイコトト思ヒマス、是ハ矢張リ

政府ノ直營トシテ設備ヲ擴張シ、完備スル

テハ、到底今申シマシタヤウナ大東亞共榮

造ヲバ政府ニ於テ收納スルト云フ程度ノ專賣局ノ直營トスベキモノデアルト思フノ

デアリマス、私モ多少「ライスペー・バー」製

ペー・バー」ノ需要ヲ充タスト云フヤウナコ

マコトヲバ御見越ニナツテ居ルコトト思ヒマス、仄聞スル所ニ依リマスト、支那、南方、

所謂大東亞共榮圈ニ於ケル煙草ノ需要量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデゴザイマセウニシテ參リタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一

點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ付キマシテハ新證券ヲバ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

スルト云フ程度ノ專賣デハ不徹底デヤナカ

ラウカ、寧ロ是ハサウ云フ大キナ需要ガ目

造事業ノ内容ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス

ガ、現在ノ王子ノ設備、三島製紙ノ設備ト

云フヤウナ、サウ云フモノノ設備ダケデ以

トハ出來ナイコトト思ヒマス、是ハ矢張リ

政府ノ直營トシテ設備ヲ擴張シ、完備スル

テハ、到底今申シマシタヤウナ大東亞共榮

造ヲバ政府ニ於テ收納スルト云フ程度ノ專賣局ノ直營トスベキモノデアルト思フノ

デアリマス、私モ多少「ライスペー・バー」製

ペー・バー」ノ需要ヲ充タスト云フヤウナコ

マコトヲバ御見越ニナツテ居ルコトト思ヒマス、仄聞スル所ニ依リマスト、支那、南方、

所謂大東亞共榮圈ニ於ケル煙草ノ需要量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデゴザイマセウニシテ參リタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一

點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ付キマシテハ新證券ヲバ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

スルト云フ程度ノ專賣デハ不徹底デヤナカ

ラウカ、寧ロ是ハサウ云フ大キナ需要ガ目

造事業ノ内容ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス

ガ、現在ノ王子ノ設備、三島製紙ノ設備ト

云フヤウナ、サウ云フモノノ設備ダケデ以

トハ出來ナイコトト思ヒマス、是ハ矢張リ

政府ノ直營トシテ設備ヲ擴張シ、完備スル

テハ、到底今申シマシタヤウナ大東亞共榮

造ヲバ政府ニ於テ收納スルト云フ程度ノ專賣局ノ直營トスベキモノデアルト思フノ

デアリマス、私モ多少「ライスペー・バー」製

ペー・バー」ノ需要ヲ充タスト云フヤウナコ

マコトヲバ御見越ニナツテ居ルコトト思ヒマス、仄聞スル所ニ依リマスト、支那、南方、

所謂大東亞共榮圈ニ於ケル煙草ノ需要量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデゴザイマセウニシテ參リタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一

點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ付キマシテハ新證券ヲバ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

スルト云フ程度ノ專賣デハ不徹底デヤナカ

ラウカ、寧ロ是ハサウ云フ大キナ需要ガ目

造事業ノ内容ニ付テ知識ヲ持ツテ居リマス

ガ、現在ノ王子ノ設備、三島製紙ノ設備ト

云フヤウナ、サウ云フモノノ設備ダケデ以

トハ出來ナイコトト思ヒマス、是ハ矢張リ

政府ノ直營トシテ設備ヲ擴張シ、完備スル

テハ、到底今申シマシタヤウナ大東亞共榮

造ヲバ政府ニ於テ收納スルト云フ程度ノ專賣局ノ直營トスベキモノデアルト思フノ

デアリマス、私モ多少「ライスペー・バー」製

ペー・バー」ノ需要ヲ充タスト云フヤウナコ

マコトヲバ御見越ニナツテ居ルコトト思ヒマス、仄聞スル所ニ依リマスト、支那、南方、

所謂大東亞共榮圈ニ於ケル煙草ノ需要量ト云フモノハ非常ニ莫大ナモノデゴザイマセウニシテ參リタイト思ヒマス

○大野綠一郎君 只今ノアレハ何カ制限ガ

ゴザイマスノデスカ、一人幾ラトカ云フ、

金融機關ヘ持ツテ行シタ場合ニ……

○政府委員(田中豊君) 一日一人一回二百圓ト云フ限度デアリマス

○委員長(男爵東郷安君) 法案ニ付テ別ニ御質疑ハゴザイマセヌカ……次ニ移リマス、

戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案

○子爵梅園篤彦君 チヨット政府委員ニ一

點ダケ伺ヒタイト思ヒマスガ、是ハ本法ニ依リマシテ戰時中ニ於テ無記名國債證券ガ災害ノ爲ニ喪失致シマシタ場合ニハ、政府

ハ新證券ヲバ交付スルコトガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、誠ニ結構ダト思ヒマス、處ガ社債ノ喪失ノ場合ハドウ云フコトニナツテ居ルノデアリマセウカ、社債券モ矢張リはト等シク保護ヲシテ、社債券ニモ新證券ヲバ交付スル必要ガアルト思フノデアリマスルガ、此ノ點如何ナモノ、ゴザイマセウカ、又社債券ニ付キマシテハ新證券ヲバ交付シ得ル途ガ現行法ニアル譯デゴザイマス、斯様ナ違ヒデ特ニ國債ニノミ規定ヲ設ケタ譯デゴザイマス

○子爵梅園篤彦君 只今ノ御説明ニ依リマシテ了承致シマシタ

○委員長(男爵東郷安君) 別ニ御質疑ガゴザイマセヌケレバ次ノ煙草專賣法及鹽專賣法中改正法律案

○子爵梅園篤彦君 此ノ法案ヲ見マスルト、

煙草ニ必要ナル煙草用卷紙ノ生産ヲ確保シト云フコトニナツテ居リマシテ、内地ノ煙草

造業者ヲシテ生産セシメ、其ノ製品ヲ收納

賣ニ付キマシテ、從來此ノ煙草用卷紙ノ製造方面ニ非常ニ御造詣ノ深イ梅園子爵カラ専賣ノ運營上將來ヲ見透シテノ積極的ナ御イ次第デアリマス、今仰セノアリマシタ通りニ、最近東亞共榮圈全體ヲ通ジテ見テノシマス者ト致シマシテ非常ニ感激ニ堪ヘテ高見ヲ承リマシテ、色々此ノ仕事ヲ擔當致シマス者ト致シマシテ非常ニ感激ニ堪ヘテコトト思フノデアリマス、大體東亞共榮圈全體ヲ通ジテ、現在所謂卷煙草、紙卷煙草ノコトデアリマスガ、卷煙草ノ需要ナリ生産量ナリト云フモノハ、近年非常ニ殖エテ參ッテ居リマシテ、大體私共最近ノ生産數量ハ一千七百億本ヲ超過スルト觀テ居ルノデアリマス、一千七百億本位ノ卷煙草ヲ製造致ストスレバ、ソレニ要スル煙草用卷紙ハ約二千二百萬「ボンド」位必要カト思フノデアリマシテ、需要ニ對シテ相當ノ不足ヲ示シテ居ルノデアリマス、從來共榮圈全體ヲ通ジマシテ、此ノ煙草用卷紙ノ使用ノ狀態ヲ考ヘマスルト、數年前迄ハソレ程不足ニ入リマシテカラ、製紙業ノ色々ノ事情ノ變化ニ伴ヒマシテ、此ノ供給力が非常ニ減ツテ參ッテ來テ居ルノデアリマス、共榮圈全體ヲ通ジテノ煙草製造事業ト致シマシテハ、從來ノ卷紙ノ在庫ナンガヲ使ツテ今ノ處仕事ヲ進メテ居ルト云フ風ナ實状デアリマス、ソレデ先程仰セノアリマシタ通りニ、ドウシテモ共榮圈全體ヲ通ジテ煙草製造ニ絕對

ニ必要ナル巻紙ノ供給ヲ確保シナケレバナ
ラヌ、サウ云フ意味テ今回ノ專賣ヲ實施致
シタイト云フ目論見デアルノデアリマス、
竝ニ富士川製紙、此ノ三社ノ製造設備能力
ノ狀況ヲ見マスルト、大體能力其ノモノハ
相當餘裕ハアルノデアリマスガ、現在ハ寧
ロ原料ノ關係、或ハ労力ノ關係ト云フヤウナ
點カラ生産ガ相當ニ制約ヲ受ケテ居ルノデ
アリマス、將來ハ專賣ヲヤリマシタ時ニハ
我々ト致シマシテハサウ云フ生産ノ所謂溢
路ト言ヒマスカ、勞力ト力或ハ原料ノ方面
ニ付キマシテ極力確保ヲ圖ルト云フヤウナ
努力ヲ致シマシテ、是非共所要ノ必要ナル
生産數量ト云フモノハ確保シタイト云フコ
トヲ考ヘテ居ルモノデアリマス、其ノ生産ノ
確保ヲヤルニハ只今御指摘ノアリマシタ民
間ノ製造業者ニ製造ノ許可ヲシテ、之ニ生
産ヲサセルダケデハ十分デナク、寧ロ政府
直營ノ工場ヲ經營スベキモノノハイカト
云フ御意見デアリマスガ、誠ニ我々ト致シ
マシテハ御尤モナルコトカト存ズルノデア
リマス、唯今回政府ガ煙草用巻紙ノ專賣ヲ
計畫致シマシタニ付キマシテハ、出來ルダ
ケ從來ノ製造業者ヲ活用シ、其ノ多年ニ亘
ル經驗ナリ或ハ技術ヲ十分ニ生カシテ、サ
ウシテ一面政府モ極力之ニ對シテ生産ノ確
保ガ出來マスルヤウナ協力ヲ致シマシテ、
謂ハバ官民一致協力致シマシテ、所要ノ生
産ヲヤシテ參ルト云フコトニ致シマシテ、差
當リノ處、法律案ヲ御覽下サイマシテモ御
ハ考ヘテ居マセヌノデ、政府ノ許可ヲ受ケ
タ製造業者ヲシテ製造サシテ行ク、唯法律

案ニモ示シテアリマス通りニ、今回ノ煙草用巻紙ノ製造許可ト云フコトニ付キマシテハ、單ニ所謂許可ト言ヒマスルカ、法律的ルト云フヤウナ消極的ナ許可デハナクテ、條項ニモ示シテアリマスル通リニ、其ノ製造ノ許可ヲ受ケマシタ業者ハ、豫メ一定ノ期間内ノ製造計畫ト云フモノヲ樹テ、ソレヲ政府ニ提示シテ、政府ノ許可ヲ受ケテ、其ノ生産ラシテ行クト云フ條項モ纖込ンデアル、謂ハバ單ナル許可デハナクテ、内容的ニ考ヘテ見マスルト、特許ト殆ンド變ラナイヤウナ規定ヲ設ケテ居ルノデアリマシテ、只今御指摘ノアリマシタヤウナ點モ、サウ云フ意味デ、同ジ程度酌ミ入レテ、此ノ案ヲ立案シタヤウナ次第デアリマス、唯將來單ニ今ノ業者ダケデ製造サシテ、十分ニ生産ノ確保ガ出來ルカドウカ、今後ノ問題ト致シマシテハ相當考慮ノ必要ガアルト思フノデアリマス、サウ云フ際ニハ從來ノ民間ノ工場ノ外ニ、政府ノ直營工場ト云フモノモ或ハ考ヘル必要ガ將來起ルカトモ思フノデ新シイ工場ヲ設置シテ、政府ガ直接製造ヲヤシテ行クト云フヤウナコト、サウ云フコトモ或ハ將來ニ於テハ必要ガ起ルカモ知レナイト思フノデアリマスガ、只今ノ所ハ先程チヨット申シマシタヤウニ、現在ノ設備能カ力、機械ノ設備能力ト致シマシテハ東亞共榮圈全體ヲ通ジテ見テモ、十分ニ此處當分ノ間ノ供給ガ出來ルダケノ能力ヲ持ッテ居マルモノデアリマスカラ、之ヲ極力活用致シマシテ、一面原料確保、労力ノ確保、斯ウ云フ點ヲ我々ト致シマシテハ努力致シマシ

テ、所要ノ生産ヲヤツテ行クト云フヤウニ致シタイト思ヒマス
○子爵梅園篤彦君 只今ノ政府委員ノ御説明ニ依リマシテ能ク了承致シマシタガ、此ノ點ハ意見ノ相違ニナリマスガ、ドウシテモ私ハ矢張リ直營デナイト徹底シナイト云フヤウニ思ヒマスノデ、特ニ直營ト云フコトニ付キマシテ御考慮置キヲ願ヒタイト云フコトヲ申シテ置キマス
○委員長(男爵東郷安君) 煙草專賣ニ付テ別段御質疑ハアリマセヌカ
○子爵米田國臣君 鹽ノコトニ付テチヨット伺ヒタインデアリマスガ 今内地ニ於キマシテ需給ノ關係ガドウデゴザイマスカ
○政府委員(濱田幸雄君) 内地ニ於キマシテノ鹽ノ需給ノ關係ニ於キマシテ御質疑ガアリマシタ、實ハ計數的ニ具體的ナ御説明ヲ公開ノ席上デ申ス自由ヲ持テマセヌノゾ、或ハ説明ガ徹底シナイト云フ虞モアルト思ヒマスガ、大體ノ説明ヲ申上ゲタイト思ヒマス、内地ニ於キマシテノ鹽ノ需給關係ハ内地ニ現在製造シテ居リマス、所謂私共事務當局ト致シマシテハ内地鹽ト云フコトヲ言ツテ居ルノデアリマスガ、其ノ内地デ製造致シテ居リマスル鹽ハ、御承知ノ通リニ大體瀬戸内海沿岸地帶デ主ニ生産セラレテ居リマシテ、ソレ以外ニハ或ハ宮城縣トカ、或ハ石川縣、愛知縣、或ハ鹿兒島縣、福岡縣ト云フヤウナ方面ニ點在シテ少々作ツテ居ルノデアリマス、結局此ノ生産ハ言フ迄モナク天候ニ依ツテ非常ニ左右セラレルノデアリマシテ、昭和十八年度ト致シマシテハ、夏ノ七、八月頃ノ最盛期ニ入リマシテ、生産ノ上カラ見マスト天候ノ工合ガ好クナカッタノデアリマス、ソレデ本年度ト致シマ

シテハ計畫通りノ生産ハ恐ラクハ困難デア
御承知ノ通り中國地方デ非常ナ災害ガアリ
マシテ、鹽田ト致シマシテハ相當ナ被害ヲ
受ケタノデアリマス、此ノ被害ヲ受ケマシ
タ鹽田ノ復舊ニ付キマシテハ、政府當局ハ
勿論、關係府縣方面ノ協力モ得、又ソレド
ノ業者ノ方ノ非常ナル努力ニ依リマシテ、
極力此ノ復舊ヲ圖リマシテ、今ノ所大體豫
定ノ復舊ヲ遂ゲルコトガ出來ルヤウナ狀勢
ニナツテ居リマス、尙マダ完全ニ復舊シテ
居ナイ地方モアリマシテ、本年ノ夏頃ニナ
ラネケレバ採鹽モ困難デハナイカト云フヤ
ウナ地方モアルノデアリマスガ、併シ大勢
ト致シマシテハ、此ノ一年有餘ノ間ニ大體
復舊ヲ遂ゲルコトガ出來タト云フヤウナ狀
勢ニナツテ居ルノデアリマス、今申シマシタ
ヤウナ事情デ、十七年度ノ鹽ノ製造モサウ
云フ事情ガアリマシタ爲ニ、生産ノ成績ハ
良クナカッタノデアリマス、十六年度ニ於キ
マシテモ良クナカッタ、謂ハバ此ノ二三年ノ
間ト云フモノハ、内地ノ鹽ノ生産ト云フモ
ノハ、豫定ニ對シテ相當少ナカッタノデアリ
マス、御承知ノ通りニ内地ニ於ケル鹽ノ供
給ハ、勿論内地デ製造致シマス鹽ダケデハ
從來十分デアリマセヌノデ、相當多量ノ鹽
ヲ、是ハ食料用鹽ト致シマシテモサウデア
リマスガ、又一面工業用鹽ト致シマシテモ
カラ輸入ヲ致シテ供給ヲ確保シテ居ツタノ
デアリマス、最近ハ支那大陸方面、或ハ満
海鹽ト言ツテ居リマシタガ、サウ云ツタ方面

洲、關東州、臺灣方面カラ主トシテ輸移入
ヲ圖シテ居ルノデアリマス、之ヲ以チマシテ
所要ノ鹽量ハ必ズ内地デ確保スルト云フ從
來カラノ方針ヲ執シテ參ッテ居ルノデアリ
マス、ソレデ此ノ二三年來内地ニ於ケル鹽
ノ生産高ト云フモノハ天候ノ加減、或ハ其
ノ他ノ災害ニ依リマシテ相當ニ少ナカツ
タノデアリマスルガ、幸ニシテ外方面ノ
鹽ノ生産ガ近年段々増加シテ參ッテ居リマ
ス、是ハ少シ話ガ外レルカト思ヒマスル
ガ、昭和十二年度以降ニ、大體政府ト致シ
マシテハ外地ニ於ケル、主ニ満洲、支那、
朝鮮、臺灣、關東州方面ニ於ケル、所謂近
海鹽ト私共申シテ居ルノデアリマスルガ、
サウ云フヤウナ鹽ノ生産ヲ相當殖ヤサヌト
イカヌト云フ方針デ、十二年度以降五箇年
計畫ヲ樹テマシテ、增產ノ計畫ヲ遂行シテ
參ッタノデアリマス、是ガ十七年度ニ至リマ
シテ大體豫定ノ計畫ヲ實行スルコトガ出来
ルヤウニナリマシテ、外地ニ於ケルサウ云
フ方面ノ鹽ノ生産高ハ、十二年度ノ生産高
ニ較ベマスルト最近ハ約二倍ニナッテ居ルノ
デアリマス、是ハ相當ノ量デアリマス、サ
ウ云フ意味デ少クトモ近海鹽全體ヲ通ジテ
見、内外ヲ通シテ見マシテモ、鹽ノ供給量
ト云フモノハ、需要ニ對シテ現在ノ所、寧
ロ餘ル位ニナッテ來テ居ルノデアリマス、ソ
レデ私共ト致シマシテハ、内地デ鹽ノ生産
ガ面白クナカッタ爲ニ、此ノ一二年來ト云フ
モノハ極力外地ノ鹽ヲ輸入スル、サウシテ
内地ニ於ケル、供給ヲ確保スルト云フ方針
ヲ執シテ參ッテ居リマス、唯御想像ガ出來マ
ス通リニ、最近ノ情勢ハ船腹ガ非常ニ不足
ニナッテ居ル、ソレニ對シテ勿論是ハ物動計
畫ニモ載セマシテ、或ハ配船ノ計畫モ致シ

極力鹽ハ絶對ニ必要品デアル、必需品デアルト云フ意味デ、此ノ輸入ヲ確保シテ居ルノデアリマスガ、船デ輸入ガ出来ナイモノニ付キマシテハ、他ノ手段ヲ講ジテモ現在相當内地ニ輸入シテ居ルノデアリマス、ソレデ十八年度最近ノ情勢ト致シマシテハ、内地ニ於ケル鹽ノ需要ニ對シテハ、十分供給來ノコトヲ振返テ見マスルト、昭和十七年ノ一月カラ、御承知ノ通りニ内地ニ於キマシテハ鹽ノ配給制ヲ實施シタノデアリマス、其ノ當時ハ御想像ガ出來ルコトト存ジマスルガ、内地ニ於ケル鹽ノ需給ト云フモノハ相當ニ窮屈デアッタノデアリマス、ソレダカラコソア、云フ配給制ヲ採ツタノデアリマスガ、其ノ後ノ情勢ハ大體ニ於テ需給モ餘程緩和シテ參ツテ居リマシテ、年度末ニ專賣局ニ手持ノ鹽ガドレ位アルカト云フコトヲ比較シテ參リマシテモ、其ノ當時カラ此ノ一兩年末ノ様子ヲ比較致シマスルト、相當餘裕ガ出來ルヤウニナツテ居リマス、其ノ點デハ私共最近鹽ノ需給ニ付キマシテハ、可ナリ氣樂ナ氣持デ仕事ヲ運ブコトガ出来ルヤウナ情勢ニ相成ツテ居ルノデアリマス、其ノ一般ノ食糧鹽ニ付キマシテハ、恐ラクハ現今消費者ト致シマシテ、是デ十分ダト云フ所迄ハ供給ガ出來テ居ナインデヤナイカ、大體食料鹽ト致シマシテハ、本當ニ幾ラデモ欲シイト言ヒマシタ時ニ、供給出來マス數量ニ比較致シマスルト、約一割位ノ消費規正ガ全體トシテ行ハレテ居ルノデハナインカト云フ見透シヲ付ケテ居リマスルガ、是ハ今申シマシタヤウナ事情デ、消費者ノ方ノ或程度ノ消費規正ヲモ御願ヒ致シタイト

思タテ、其ノ程度ニ於テノ供給ヲヤッテ居ル
次第デアリマス、計數的ナコトヲ申スコトニ
モ出來マセヌノデ恐縮デアリマスガ、内地
ニ於ケル最近ノ鹽ノ需給ノ情勢ハ今申シタ通り
ナノデアリマシテ、通觀致シテ見マスルト、
最近鹽ノ供給ニ付キマシテハ、大體ニ於テ毫
モ國民ノ御心配ヲ顧ハナクテモ宜イノデハ
ナイカト云フヤウニ存ジテ居ル次第デゴザ
イマス

アリマス、將來出來ルダケサウ云フ方面ノコトモ、專賣局ト致シマシテモ勸メテ見マシテ、斯ウ云フ方面ノ利用ヲ圖ッテ見タイト

考ヘテ居リマス

○子爵米田國臣君 之ヲ使ヒマシテモ專賣法ニ觸レマセヌカ
○政府委員(濱田幸雄君) 觸レマセヌ、勿論ソレハ專賣局ノ許可ヲ受ヒマシテ、サウ云フ用途ニ使フコトニ致シマス

○子爵米田國臣君 モウ一點伺ヒマス、其ノ鹹水ノ中ニ色々夾雜物ガアルト思ヒマスガ、ソレハ人體ニ影響ハナイモノデゴザイマセウカ

○政府委員(濱田幸雄君) 人體ニハ影響ハナイモノト見テ宜イト思ヒマス、私モ餘りサウ云フ技術方面ノコトハ専門的ニ深ク研究ハシテ居リマセヌガ、鹹水ヲ其ノ儘何カ食用ノ製品ニ使ヒマシテモ、衛生上ニモ弊害ハナイト存ジマス

○子爵米田國臣君 能ク分リマシタ

○大野綠一郎君 苦汁ノ專賣ト云フノハ、外地デハヤラセル御方針ナンデスカ、ドウナンデスカ

○政府委員(濱田幸雄君) 苦汁ノ專賣ニ付キマシテハ、私ノ方デ只今迄外地ト連絡ヲ取シテ承知シテ居リマス所デハ、臺灣ノ方デ專賣ヲ實施スルノデハナイカト思ヒマス、ソレカラ内地ト並行致シマシテ朝鮮ノ鹽ノ賣賣ヲヤッテ居リマスルガ、御承知ノ通リニ朝鮮ノ鹽專賣ハ殆んど政府ノ直營鹽田デ鹽朝鮮ハ專賣ヲヤラナイノデヤナカト思フノデアリマス、其ノ他關東州方面デハ、專賣局ト云フ形態ヲ取ラナクテモ、十分目的ヲ達スルデアラウト云フノデ、朝鮮ハ專賣ヲヤラナイノデヤナカト思フ

賣ハ鹽ニ付テモ未ダ行ッテ居ネイノデアリマスガ、恐ラク今ノ所サウ云フ計畫ハナイ支方面ニ於キマシテモ、苦汁ノ生產ヲ殖ヤシ之ヲ確保シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、内地ト同ジ方針デ進ンデ居リマシテ、ヤウナ筋デ、色々ノ施策ヲ講ジテ行クト云

ト思ヒマス、ガ關東州ニ限ラズ、滿洲、北支方面ニ於キマシテモ、苦汁ノ生產ヲ殖ヤシ之ヲ確保シテ行クト云フコトニ付キマシテハ、内地ト同ジ方針デ進ンデ居リマシテ、ヤウナ筋デ、色々ノ施策ヲ講ジテ行クト云

トニ付テ御質問ガアリマシテ、御答ガアリマシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

モノハ大體一割程度ダト云フヤウニ仰シヤッテ居ラレタト伺ッテ居ルノデアリマスガ、大

マシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

トカ、時期トカニ依ッテノ狂ヒハ今迄アッタラ

テ居ラレタト伺ッテ居ルノデアリマスガ、大

マシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

モハ大體一割程度ダト云フヤウニ仰シヤッテ居ラレタト伺ッテ居ルノデアリマスガ、大

マシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

トニ付テ御質問ガアリマシテ、御答ガアリマシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

モノハ大體一割程度ダト云フヤウニ仰シヤッテ居ラレタト伺ッテ居ルノデアリマスガ、大

マシタノデスガ、食用鹽ノ消費規正ト云フ

モハ大體一割程度ダト云フヤウニ仰シヤッテ居ラレタト伺ッテ居ルノデアリマスガ、大

○政府委員(濱田幸雄君) 内地ダケデアリ

マス、勿論樟太ハ入ッテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 今回ノ煙草專賣法ノ御

改正ノ一ツト致シマシテ、煙草用卷紙ヲ許

可シタ者デナケレバ製造出來ナイ、若シク

ハ輸出出來ナイト云フヤウナコトデゴザイ

マスガ、從來ハ煙草用卷紙ハ普通ノ製紙會社

ガヤツテ居ツタノデゴザイマスカ、而シテ其

ノ生産高等若シ同フコトガ出來マスレ

バ……

○政府委員(濱田幸雄君) 従來煙草用卷紙

ノ製造ハ現行ノ專賣法ニ依リマシテモ、政

府ノ許可ヲ受ケナケレバ製造モ出來ナイ販

賣モ出來ナイ、ト云フコトニ相成ツテ居ツタノ

デアリマス、輸出トカ輸入ニ付キマシテハ

直接ノ制限ノ規定ハナカツタノデアリマス

ガ、製造販賣ニ付キマシテハ或ハ又藏量ト

云フヤウナコトニ付キマシテハ、現行專賣

法デモ政府ノ許可ヲ受ケナケレバナラスト

云フコトニナツテ居ルノデアリマス、ソレカ

ラ從來ハ一般ノ製紙會社ガ造ツテ居ツタノデ

ガ出來ルト云フコトニ相成ツテ居ツタノデア

リマス、現在内地デ煙草用卷紙ノ製造ヲシ

テ居リマス業者ハ、王子製紙、三島製紙、

富士川製紙ノ三社デアリマス、製造數量ハ大

體最近ノ見込デハ、年額一千二百萬「ボン

ド」位ノモノデアリマス、先程梅園子爵ノ

御質疑ノ際ニ御答辯申シマシタ其ノ製造

ノ設備、機械設備ノヤウナモノガ一千二百

萬「ボンド」以上ノ能力ヲ持ツテ居リマシテ

大體一千七百萬或ハ八百萬「ボンド」ノ生產

能力ヲ持ツテ居ルノデアリマス、業者別ノ生

產能力ヲ申シマスト、王子製紙ノ方デハ大

體六百六十萬「ボンド」位、三島製紙ガ約五

百八十萬「ボンド」位、富士川製紙ガ五百

三十萬「ボンド」、大體似タヤウナ所デア

リマス、生產見込高ハ其ノ製造能力ニ較ベ

マシテ、少シ各社共落チテ居リマスガ、兎

ニ角合計致シマシテ現在約一千二百萬「ボ

ンド」位ノモノノ生產シテ居リマス

○伯爵橋本實斐君 序ニ此ノ輸出ガゴザイ

マスレバ、輸出ノ數量ト、又輸出ノ仕向先

ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(濱田幸雄君) 現在東亞共榮圈

ヲ通ジテ煙草用卷紙ノ需給ノ極々概觀的ナ

コトヲ申シマスト、内地ノ方ニ於キマシテ

ハ今申シマシタヤウニ約一千二百萬「ボンド」

位ノ製造ヲヤツテ居リマシテ、内地ノ專賣

局竝ニ朝鮮、臺灣ノ專賣局デ使ヒマス卷紙

ノ需要量ハ約一千萬「ボンド」以下、九百七、

八十萬「ボンド」位カト思ヒマス、差引致シマシ

テ二百二十萬「ボンド」或ハ三十萬「ボンド」

程度ノ供給過剩ニ相成ルノデアリマス、滿

洲ニ於キマシテモ安東ノ方ニ、安東造紙ト

云フ卷紙會社ガアリマシテ、大體滿洲ト致

シマシテハ製造能力カラ云ヒマシテ、自給

自足ガ出來ル程度デアリマスガ、最近ノ情

勢カラ見マスト、原料ノ關係其ノ他ノ事情

ニ依リマシテ實際上六「フル」ニ仕事ガ出來テ

スルト云フヤウナコトニ相成ツテ居リマス、

地域毎ノ輸出數量モ現在專賣當局ノ方デ、

業者ノ方ノ輸出計畫ヲ承認スルヤウナコト

ニナツテ居リマシテ、事實上現在ノ專賣法ノ

運營ニ依リマシテ輸出ノ統制ヲヤツテ居ルノ

デアリマス、若シ御必要ガアリマスレバ地
域每ノ最近ノ承認數量モ後カラ表ニシテデ
モ差上げタイト思ヒマス、大體ニ於テノ趨
勢ハ今申シタ通りデアリマシテ、唯日本ノ
ノ内容ニ相成ツテ居ルノデアリマス、御承知
ノ通り現在戰爭保險ニ關シマシテハ、戰爭
保險臨時措置法ト云フモノガゴザイマシテ、
ソレニ依ツテヤツテ居ルノデゴザイマスガ、

(速記中止)

○委員長(男爵東郷安君) 速記開始、次ハ

戰時特殊損害保險法案ニ移リマス、本案ニ

關シマシテ政府ノ御説明ガゴザイマス

○政府委員(山際正道君) 只今議題ニ相成

テ、搔摘シテ概略ヲ御説明申上ゲタイト存ジ

マス、此ノ法律案ノ提案理由ニ關シマシテ

リマシタ戰時特殊損害保險法案ニ關シマシ

テ、搔摘シテ概略ヲ御説明申上ゲタ次第

ハ、過日大藏次官ヨリ御説明申上ゲタ次第

デゴザイマスノデ、此ノ際重ねテ申上ゲル

コトハ避ケタイト存ジマス、要スルニ此ノ

戰時下ニ於キマシテ、之ガ爲ニ之ニ備

リマス上カラニハ、國家經濟ノ秩序ヲ維持

シ、國民生活ノ安定ヲ保持スルト云フコト

ガ絶對ノ要件デアリマス、之ガ爲ニ之ニ備

フルノ一つノ施策ト致シマシテ、戰爭保險

制度ノ擴充ヲ圖ルト同時ニ、新タニ地震保

險制度ヲ創設シヨウト云フノガ此ノ法律案

ノ内容ニ相成ツテ居ルノデアリマス、御承知
ノ通り現在戰爭保險ニ關シマシテハ、戰爭
保險臨時措置法ト云フモノガゴザイマシテ、
ソレニ依ツテヤツテ居ルノデゴザイマスガ、

第四部第一〇類 昭和十九年度一般會計歲出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號 昭和十九年二月二日 資料院

險臨時措置法ヲ廢止致シマシテ、戰爭保險又ト、地震保險ニ關スル事項ヲ總て此ノ單一ノ法律ノ中ニ織込ミマシテ、從ヒマシテ此ノ法律案ガ施行セラレマスル結果ハ、臨時措置法ハ廢止セラレル、斯ウ云フ法律ニ相成ッテ居リマス、便宜上直チニ法律上ノ條文ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、過日參考資料ト致シマシテ御手許ニ差上ゲマシタ、「戰時特殊損害保險法案ニ基ク命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ調べガゴザイマス、之ヲ御覽願ヒツ、御聽取願ヒタイト存ジマス、先づ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ要スルニ戰爭保險トハ此ノ法律ニ於テ如何ナル保險ヲ言フノデアルカ、又地震保險トハ如何ナル保險ヲ言フルカ、又地震保險トハ如何ナル保險ヲ言フノデアルカ、ト云フコトヲ規定致シマシタ、此ノ法律ニ於テ如何ナル保險事故トスル損害保險條文デゴザイマス、茲ニゴザイマス通り戦爭保險ト申シマスノハ、戰時ニ於ケル戰闘行爲又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル火災、損害其ノ他ノ事故ヲ保險事故トスル損害保險ト同ジ範圍デアリマスガ、違ヒマス點ヲ少シ申上ゲマスト、現在ノ法律デハ「戰闘行爲ニ因ル」云々トアリマシテ、又「之ニ關聯アル事件」ト云フコトガナインデアリマス、是ハ先般戰爭保險臨時措置法ヲ御審議願ヒマスニ、戰闘行爲ニ因ルダケデハ、稍、狹キニ失シハシナイカ、サウ致シマスト、普通ノ火災保險デモ填補サレナイマシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、運用上十分留意スルト御答ヲ致シテ居ツタノデアリマスル

ガ、改正ノ機會ニ於キマシテ、其ノ點ヲ、ハッキリ致シマス爲ニ、茲ニハ「戰闘行爲又ハ法律案ガ施行セラレマスル結果ハ、臨時措置法ハ廢止セラレル、斯ウ云フ法律ニ相成ッテ居リマス、便宜上直チニ法律上ノ條文ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、過日參考資料ト致シマシテ御手許ニ差上ゲマシタ、「戰時特殊損害保險法案ニ基ク命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ調べガゴザイマス、之ヲ御覽願ヒツ、御聽取願ヒタイト存ジマス、先づ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ要スルニ戰爭保險トハ此ノ法律ニ於テ如何ナル保險事故トスル損害保險條文デゴザイマス、茲ニゴザイマス通り戦争保險ト申シマスノハ、戰時ニ於ケル戰闘行爲又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル火災、損害其ノ他ノ事故ヲ保險事故トスル損害保險ト同ジ範圍デアリマスガ、違ヒマス點ヲ少シ申上ゲマスト、現在ノ法律デハ「戰闘行爲ニ因ル」云々トアリマシテ、又「之ニ關聯アル事件」ト云フコトガナインデアリマス、是ハ先般戰爭保險臨時措置法ヲ御審議願ヒマスニ、戰闘行爲ニ因ルダケデハ、稍、狹キニ失シハシナイカ、サウ致シマスト、普通ノ火災保險デモ填補サレナイマシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、運用上十分留意スルト御答ヲ致シテ居ツタノデアリマスル

ガ、改正ノ機會ニ於キマシテ、其ノ點ヲ、ハッキリ致シマス爲ニ、茲ニハ「戰闘行爲又ハ法律案ガ施行セラレマスル結果ハ、臨時措置法ハ廢止セラレル、斯ウ云フ法律ニ相成ッテ居リマス、便宜上直チニ法律上ノ條文ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、過日參考資料ト致シマシテ御手許ニ差上ゲマシタ、「戰時特殊損害保險法案ニ基ク命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ調べガゴザイマス、之ヲ御覽願ヒツ、御聽取願ヒタイト存ジマス、先づ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ要スルニ戰爭保險トハ此ノ法律ニ於テ如何ナル保險事故トスル損害保險條文デゴザイマス、茲ニゴザイマス通り戦争保險ト申シマスノハ、戰時ニ於ケル戰闘行爲又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル火災、損害其ノ他ノ事故ヲ保險事故トスル損害保險ト同ジ範圍デアリマスガ、違ヒマス點ヲ少シ申上ゲマスト、現在ノ法律デハ「戰闘行爲ニ因ル」云々トアリマシテ、又「之ニ關聯アル事件」ト云フコトガナインデアリマス、是ハ先般戰爭保險臨時措置法ヲ御審議願ヒマスニ、戰闘行爲ニ因ルダケデハ、稍、狹キニ失シハシナイカ、サウ致シマスト、普通ノ火災保險デモ填補サレナイマシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、運用上十分留意スルト御答ヲ致シテ居ツタノデアリマスル

ガ、改正ノ機會ニ於キマシテ、其ノ點ヲ、ハッキリ致シマス爲ニ、茲ニハ「戰闘行爲又ハ法律案ガ施行セラレマスル結果ハ、臨時措置法ハ廢止セラレル、斯ウ云フ法律ニ相成ッテ居リマス、便宜上直チニ法律上ノ條文ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、過日參考資料ト致シマシテ御手許ニ差上ゲマシタ、「戰時特殊損害保險法案ニ基ク命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ調べガゴザイマス、之ヲ御覽願ヒツ、御聽取願ヒタイト存ジマス、先づ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ要スルニ戰爭保險トハ此ノ法律ニ於テ如何ナル保險事故トスル損害保險條文デゴザイマス、茲ニゴザイマス通り戦争保險ト申シマスノハ、戰時ニ於ケル戰闘行爲又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル火災、損害其ノ他ノ事故ヲ保險事故トスル損害保險ト同ジ範圍デアリマスガ、違ヒマス點ヲ少シ申上ゲマスト、現在ノ法律デハ「戰闘行爲ニ因ル」云々トアリマシテ、又「之ニ關聯アル事件」ト云フコトガナインデアリマス、是ハ先般戰爭保險臨時措置法ヲ御審議願ヒマスニ、戰闘行爲ニ因ルダケデハ、稍、狹キニ失シハシナイカ、サウ致シマスト、普通ノ火災保險デモ填補サレナイマシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、運用上十分留意スルト御答ヲ致シテ居ツタノデアリマスル

ガ、改正ノ機會ニ於キマシテ、其ノ點ヲ、ハッキリ致シマス爲ニ、茲ニハ「戰闘行爲又ハ法律案ガ施行セラレマスル結果ハ、臨時措置法ハ廢止セラレル、斯ウ云フ法律ニ相成ッテ居リマス、便宜上直チニ法律上ノ條文ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、過日參考資料ト致シマシテ御手許ニ差上ゲマシタ、「戰時特殊損害保險法案ニ基ク命令ニ規定スベキ主ナル事項」ト云フ調べガゴザイマス、之ヲ御覽願ヒツ、御聽取願ヒタイト存ジマス、先づ第一條ノ規定デゴザイマスガ、是ハ要スルニ戰爭保險トハ此ノ法律ニ於テ如何ナル保險事故トスル損害保險條文デゴザイマス、茲ニゴザイマス通り戦争保險ト申シマスノハ、戰時ニ於ケル戰闘行爲又ハ之ニ關聯アル事件ニ因ル火災、損害其ノ他ノ事故ヲ保險事故トスル損害保險ト同ジ範圍デアリマスガ、違ヒマス點ヲ少シ申上ゲマスト、現在ノ法律デハ「戰闘行爲ニ因ル」云々トアリマシテ、又「之ニ關聯アル事件」ト云フコトガナインデアリマス、是ハ先般戰爭保險臨時措置法ヲ御審議願ヒマスニ、戰闘行爲ニ因ルダケデハ、稍、狹キニ失シハシナイカ、サウ致シマスト、普通ノ火災保險デモ填補サレナイマシテ、之ニ對シテ政府ト致シマシテハ、運用上十分留意スルト御答ヲ致シテ居ツタノデアリマスル

失致シマシタヤウナ場合ニ於キマシテモ、
其ノ原因ガ地震又ハ戰爭事故ニ基クモノデ
アリマシテモ、チャント所定ノ保険金ノ支
拂ヲ受ケ得ル、例ヘバ過般ノ鳥取ノ震災ノ
如キ場合ニ於キマシテ經驗致シマシタ通り
多年火災保険ヲ掛ケ續ケテ參リマシタモノ
ガ、最後ノ場合ニ於テ地震ヲ原因トスル火
事ノ故ニ、結局長年ノ間掛ケ續ケテ參ッタニ
モ拘ラズ、保険金ガ得ラレナカツタ云フコ
トデ、非常ニ失望スルコトガアリ得ルノデ
アリマスガ、サウ云フ事態ハ今後戰爭保険又
ハ地震保険ニ關スル限り無クサウト云フノ
ガ、此ノ條文ヲ置イタ趣旨ナノデゴザイマ
ス、御承知ノ通り現在ノ火災保険契約デハ
戰爭事故又ハ地震事故ヲ免責ニ致シテ居リ
マスカラ、其ノ原因ガ戰爭ニ因ルモノデアル
カ地震ニ因ルモノデアルカ、是ハナカノ實
際問題トシテ紛争ガ起キ勝チナノデゴザイ
マス、從ヒマシテ此ノ規定ガ圓滑ニ働キマ
スナラバ、之ニ依リマシテ左様ナ議論ハ、
將來ハ少クトモ保険契約者ニ對シマシテハ
何等懸念ナク保険ニ入ルコトガ出來ル、斯
ウ云フ状態ニナラウカト思フノデゴザイマ
ス、第二項ニゴザイマスコトハ、是ハ法律
ノ關係ヲ簡明ニ致シマス爲ニ、本ニナル火
災保険契約ガ消滅シタ場合ハ、ソレニクッ
付イテ自勵的ニ出來タ戰爭保険契約ナリ地
震保険契約ハ、當然ソレト運命ヲ共ニシテ消
滅シテシマフト云フ規定デゴザイマス、是
ハ專ラ法律關係ヲ明確ニ致シマス爲ニ、總
テ本ニナル火災保険ノ運命ニ從フ、斯様ナ
規定ヲ設ケタ次第ゴザイマス、最後ノ項ニ
ゴザイマスノハ、保険料ノ支拂ガナカツタ場
合、又ハ支拂ハアッタケレドモ、各保険契約
ノ各ノモノヲ満タスノニ十分デナイ場合、

或ハ又既ニ戰爭保險、地震保險ニ入シテ居ルモノニ付テ、其ノ後ニ火災保險ヲ掛ケタ爲ニ、又ソコニ重複シテ戰爭保險ヤ地震保險契約ガ出來テシマフ場合、ソレ等ノ場合ニ付テドウ處理ヲシテ宜イカト云フコトヲ規定致シマス爲ニ、ソレ等ノ事項ヲ命令ニ讓ツテアルノデゴザイマス、大體ノ積リヲ申上ゲマスト、保險料ノ拂込ガナイ場合ハ、契約ハ成立シテモソレニ依ツテ保險金ノ支拂義務ハ發生シナイ、免責デアルト云フコトヲ書ク積リデアリマス、又保險料ハ拂ハレタケレドモ十分デナカツタ云フ場合之ニ付キマシテハ各ノ保險料ヲソレト接分ヲ致シマシテ、三ツノ保険ニ分ケテ行クト云フコトヲ規定致シタイ積リデゴザイマス、ソレカラ第三ノ重複ヲ致シマス場合ハ、原則ト致シマシテ、前ニ成立致シテ居リマスル戰爭保險契約ナリ地震保險契約ニ付キマシテ、解約ヲスルコトヲ認メタイ考デアリマス、其ノ場合ニ於キマシテハ、未ダ經過致シテ居リマセヌ分ニ對スル保險料ハ拂戻スト云フコトヲ規定致シマシテ、重複シテ負擔ヲ掛ケルヤウナコトノナイヤウニ致シタイ考デゴザイマス、此ノ第二條ト第三條トガ、如何ニシテ此ノ法案ニ依ル戰爭保險又ハ地震保險契約ガ成立スルカト云フコトヲ書キマシタニツノ條文デアリマス、第四條ハ、是ハ必要ガアル場合ニ於キマシテハ戰爭保險又ハ地震保險ニ入レト云フコトヲ國ガ命令シ得ルト云フ強制ノ規定デゴザイマス、實際問題ト致シマシテ、地震保險ニ付キマシテハ大シテ此ノ規定ヲ必要トスル場合モ起ルマイカト思ヒマスガ、場合ニ依リマシテハ、戰爭保險ニ付キマシテハ此ノ規定ガモノヲ言フコトモアリ得ルカト思フノ

テアリマス、要ハ何處迄モ國家經濟ノ秩序ヲ維持シ、又ハ國民生活ノ安定ヲ圖ル爲ニ必要ナル場合ニ限定サレルコトハ勿論デアリマスガ、之ニ依ツテ戰時下、當然物ノ所有者ガ其ノ物ニ付テ十分ナ注意ヲ拂フベキデアルニ拘ラズ、怠ツテ居ルト云フ場合ニ此ノ規定ヲ働くカシタイ趣旨デアリマス、併シ實際ノ問題ト致シマシテハ、強ヒテ此ノ規定ヲ働くカセマセヌデモ、此ノ規定ガアリマスコトニ依ツテ十分強力ニ保険ニ入ルコトヲ勧メルコトガ出來ル、斯様ナ效果ヲ狙ッテ民ユル次第デゴザイマス、ソレカラ第五條ノ規定ハ、是ハ少シク趣キヲ異ニシタ規定デザイマス、ソレハ「命令ヲ以テ定ムル運送保険」トゴザイマスガ、是ハ差當リハ、陸上ノ運送保険デ内地デ起ツタ事故ニ關スルモノニ付テ、此ノ規定ヲ適用シテ行キタイ考意ニ契約サセルト云フコトヲ致シマセヌデアリマスガ、其ノ運送保険契約ニ於キマシテハ、火災保険ナドトハ違ヒマシテ、一地震保険契約ヲ別箇ニ自働的ナリ或ハ任意ニ契約サセルト云フコトヲ致シマセヌデアリマスガ、現在地震事故ハ免責ニナシテ居リマスガ、免責ノ契約ラスルコトハ出来ナイゾト云フコトヲ、此ノ五條ノ規定ニ書キマシテ、運送保険契約ヲスル以上ハ、假令其ノ約款上ニ如何ナル規定ガゴザイシテモ、地震ニ因ツタ事故ヲ墳補シナイトニフ譯ニハ相成ラスト云フコトヲ此ノ第五條デ規定致シタノデゴザイマス、斯様ニ規定都度別箇ニ地震保険契約ヲ成立サセマスト非常ニ手續ガ煩瑣ニナリマスルバカリデテ行ハレル保険契約デアリマスノデ、其ノ體裁ヲ變ヘマシタ譯ハ、運送保険契約ハ御承知ノ如ク極メテ頻繁ニ短時日ニ繰返シテ、後程申上げタイト思ヒマスガ、比較的

低廉ナ保険料テ地震保険ヲ實行致シタイ考
デアリマスカラ、保険料金ノ計算ガ非常ニ
細カク、實行上徵收出來ナイヤウナ微細ナ
金額ニナル場合モアリ得ルノゴザイマス、
ソレ等ノ事務上ノ便宜ヲ考ヘマシテ、此ノ
運送保險ニ限リマシテハ、別箇ニ地震保險
ヲ附帶サセルコトナク、當然本來ノ運送保
險契約ニ於テ地震ノ事故ヲモ墳補スル、此ノ
第五條ハ斯様ナコトニ規定ヲ致シタ次第、
アリマス、第五條ノ規定ハ、御覽ノ通り、地
震關係ノ事故ダケヲ規定致シテ居ルノデア
リマシテ、戰爭保險ノコトニハ觸レテ居ラ
スノゴザイマス、是ハ戰爭保險ヲ當然ニ
附帶サセマスコトハ、先程申上ゲマシタ地
域ノ關係ガゴザイマシテ、必要ノ奈イ地域
ニ迄強制ヲスル結果ニナリマスカラ、ソレ
ヲ附帶サセズ、且又戰爭保險ノ方ノ料金ハ、
地震保險ノ方ノ料金ニ比べマスト、ヨリ多
額デアリマス關係モアリマシテ、保險料徵
收上ノ困難モ地震保險デハゴザイマセヌ、
且又現ニ戰爭保險臨時措置法ヲ實行致シテ
居リマシテ、戰爭保險契約ニ付キマシテハ、
運送保險契約ト並立シテ特ニ契約ヲ結ンデ
參ツテ居ル狀態デアリマスカラ、其ノ狀態モ
斟酌致シマシテ、第五條ハ地震ノ場合タル
ケラ規定致シタ譯デアリマス、ソレカラ第六
六條ハ、戰爭保險ナリ地震保險ナリニ入シテ
居ル人ハ、實際ノ損害ガ起り始メタ場合ニ
於テハ、出來ルダケ損害ノ防止ニ努力スル
必要ガアルト云フコトヲ規定致シタノデア
リマス、現在ノ戰爭保險臨時措置法ニモ同
様ノ規定ガゴザイマス、併シ此ノ規定ハ、
實ハ之ニ違反ラシマシタ場合ノ制裁ノ規定
ガナインデアリマス、謂ハバ德義上ノ義務
ヲ課シテ居ル條文ト御讀ミ戴キタイノデア

リマス、實ハ現行法ニ於キマシテハ、此ノ第六條ニ相當スル規定ガゴザイマシテ、直グゾレヲ承ケマシテ、此ノ規定ニ違反ヲシタ場合ニハ保険金ノ全部又ハ一部拂ハナイコトガアルゾト云フ制裁規定ガ置イテアルノデアリマス、是ハ勿論努メテ被保險者ガ損害ノ發生防止ニ協力シテ貴フコトヲ期待シテノ條文デゴザイマスケレドモ、實ハ先般臨時措置法ヲ御審議候ヒマス際ニ、之ニ違反ヲシタカドウカト云フヤウナコトハ、地震ヤ戰爭ノ事故ノ色々混雜ノ際ニナカニカ是ハ見分ケノ困難ナ問題デアル、ソレヲ基礎トシテ保険金ノ全部又ハ一部拂ハナイコトガアルゾト云フ規定ヲ置クコトハ、保險ノ加入者ニ相當ノ不安ヲ與ヘルコトニナルカラ、寧ロ其ノ規定ハナイ方ガ宜イト云フ御意見ガアツタノデアリマス、其ノ點モ斟酌致シマシテ、今回ノ立法ニ於キマシテハ格別ノ制裁規定ヲ設ケマセヌデ、此ノ戰ナルカラ、寧ロ其ノ規定ハナイ方ガ宜イト時下ニ於テ損害ノ防止ニ協力スルコトハ當然ノ國民ノ務メアルト云フコトヲ基礎ニシテ、道義的ニ第六條ノ規定ヲ設ケルコトニ致シタノデアリマス、第七條ノ規定ハ、損害ガ起リマシテモ、其ノ額ガ非常ニ少イ場合ニハ一々之ヲ填補致シマスマストハ煩雜デアリマスカラ、餘リ小サイ額ノ損害デアリマス場合ハ、保険金ノ支拂ヲシナイト云フコトヲ規定致シタノデアリマス、命令ヲ以テ定ムル金額ト云フノハ、大體三十圓程度ニシタラ如何カト考ヘテ居ルノデアリマス、是ハ現在ノ臨時措置法ニ於キマシテモ三十圓ヲ限度ト致シテ居ルノデアリマス、ソレカラ第八條ノ規定ハ、是ハ一旦損害ガ起リマシテ、保険金ノ支拂ヲ致シマシテモ、ソレガマダ一部份デアリマシテ、當初ノ契約ノ

保険金額ニ大分餘裕ガアルト云フ場合ガアリマス、其ノ残ツテル部分ニ付テハ依然トシテ保険關係ガ繼續スルト云フ規定デアリマス、併シ其ノ殘ツテル部分ガ餘リ少イ額ニアリマスト、ソレデモ尙保険關係ガ繼續スルト云フノハ煩雜デアリマスカラ、餘リニ少イ場合ニハ其處デ其ノ契約ハ效力ヲ失フト云フコトヲ規定シタノデアリマス、其ノ「命令ヲ以テ定ムル額」ト云フノハ、大體今ノ腹案デハ保険金額ノ一割未満ニナツタ場合、或ハ金額デ申セバ百圓未満ニナツタヤウナ場合、其ノ何レカ高イ方ノ額デ制限ヲシタイ、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、第九條ノ規定ハ、此ノ保険ヲ實行致シマス上ニ於キマシテ必要ナ保険ノ目的、ト申シマスノハ保険ノ目的タリ得ル物ノコトデアリマスガ、丁度普通ノ保険契約デ申シマスト、約款ニ相當ナル事項ヲ命令デ書クコトニ致シタイト云フノデ、此ノ條件ヲ設ケタノデアリマスガ、丁度普通ノ保険契約デ申シマスト、約款ニ相當スルヤウナ細カイ事項ヲ書キタイ趣旨デゴザイマス、先づ保険ノ目的ニ付テハドウ云フコトヲ大體考ヘテ居ルカト云フコトヲ申シマスト、御手許ノ資料デ申上ゲマシタ通リ「保險ノ目的タルコトヲ得ルモノハ左ニ掲ゲル動産、不動産トスルコト」「建物及其ノ附屬設備、運送品、汽車、電車、自動車其ノ他ノ車輛及地上ニ在ル航空機、船舶、起重機船、浚渫船其ノ他之ニ準ズルモノ、其ノ他大藏大臣ノ指定スルモノ」、「大體普通ノ火災保険ノ目的ニナリマスヤウナモノハ網羅的ニ考ヘテ行キタイト云フ趣旨デアルノミナラズ、バ橋梁デアリマストカ、「ダム」デアリマストカ、或ハ鐵道ノ線路、棧橋ト言タヤウナモノ

ノデモ「其ノ他大藏大臣ノ指定スルモノ」デ含
メマシテ、矢張リ戦爭保険ナリ地震保険ナリ
ノ目的トシテ取込ンデ行キタイ考デアリマ
ス、唯各種ノ事由ニ依リマシテ、特ニ保険
ノ目的カラ除外スル必要ガアルト認メラレ
ルモノガゴザイマスノデ、ソレヲ次ニ掲ガ
テアルノデアリマス、即チ「通貨、有價證券
切手、印紙、貴金屬、寶石、書畫骨董品、
美術品、稿本、設計計畫、圖案、模型、證書、
帳簿、其ノ他之ニ準ブルモノ、動植物、戰爭
保險ニ在リテハ損害保險國營再保險法ニ依
ル戰爭保険ノ目的タルコトヲ得ル物、其ノ
他大藏大臣ノ指定スルモノ」即チ是等ノモノ
ハ評價ガ非常ニ困難デアルコト、又損害ガ
起リマシタ場合ニ、其ノ損害ノ査定ニ關シ
マシテ、非常ニ問題ガ起り、得テ圓滑ナル
實施方困難ト認メラレルモノナドノ理由ニ
基キマシテ、是ハ只今ノ戰爭保險臨時措置
法デモ矢張リ除外ヲ致シテ居リマスガ、今
度モ一應是等ノモノハ差當リ除外シテ行キ
タイ考デ居ルノデゴザイマス、ソレカラ次
ノ保険金額ニ關スル事項デゴザイマスガ、
是ハ只今ノ法律デハ、戰爭保險ハ目的トナ
ル物ノ時價ノ九割未満ト云フコトニナッテ居
リマス、デ此ノ法律施行ノ際モ、差當リマス
シテハ大體現在ト同ジヤウニ、保險契約
ヲ致シマス場合ハ、任意ニ戰爭保險ナリ、
地震保險ダケニ入リマス、即チ第二條ノ場
合ハ目的タル物ノ時價ノ九割以内デ制限ヲ
掛ケマシテ、ソレニ自働的ニ喰ツ付イテ行
キマス場合ハ、火災保險ノ目的トナリマシ
タル保険金額ノ九割キツチリ、之ヲ原則トシテ
トニ致シタイ考デアリマス、又火災保險ヲ
戰爭保險地震保險ノ金額ニシテハドウカト

云フ風ニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、尙地
震保険ノ場合ト戰爭保険ノ場合トヲ、全ク
同ジ割合デ宜イカドウカト云フ點ニ付キマ
シテハ、更ニ尙研究スル餘地ガアルヤウデ
アリマスノデ、マダ十分ノ決定ハ得テ居ラ
ヌ譯デアリマス、尙地震保険ニ關シマシテ
ハ、例ヘバ個人ノ住宅ノ如キモノニ付キマ
シテ、火災保険契約ガ如何ニ多額ニ付イテ
居リマシテモ、地震保険契約ノ場合ニ其ノ
必ズ九割迄行カナケレバナラヌカドウカ、
或ハ又任意ニ地震保険契約ダケ入リマス場
合ニ於キマシテモ、其ノ物ノ其ノ時價ノ九割迄
認メル必要ガアルカドウカ、是等ノ點ニ付
テモ研究ヲ要スルモノガアルト思ヒマスノ
デ、尙是ハ研究ヲ致シタイ考デアリマスガ
大體ノ今ノ腹案ト致シマシテハ、個人ノ住
宅ニ關シマス限りハ、地震保険ニ付キマシ
テハ最高五萬圓程度デ制限ヲスルノガ安當
デハナカラウカト、一應ノ腹案ヲ持ッテ居
リマス、次ノ保険料デアリマスガ、此ノ保
険料ハ是ハ、此ノ法律ガ全體トシテウマク
行キマスカドウカト云フ點ニ關シマスル、
實際上ノ極メテ重大ナ問題デアルト思フノ
デアリマス、現在ノ腹案ト致シマシテハ、
半バ強制ヲスル場合モゴザイマスシ、ト申
シマスルノハ火災保険ニ自働的ニ附帶サセル
場合モゴザイマスシ、又正面カラ其ノ保険
ノ加入ヲ強制致シマス場合モゴザイマス
シ、ソレ等ノ點ヲ考ヘ併セマシテ、極メテ
低廉ニ決メタイ考デアリマス、戰爭保険ニ
付キマシテハ、現在ハ御承知ノ通り千圓
ニ付テ年額三圓五十錢デヤツテ居リマスガ、
之ヲ年額二圓程度迄引下ゲタイ考デ研究ヲ
致シテ居リマス、又地震保険ニ關シマシテ
ハ、此ノ保険料ノ算定ハ非常ニ困難デアリ

ニ付テ一年ニ付五十錢程度ヲ考ヘテ居ルノ
デゴザイマス、何レニ致シマシテモ、大臣
ガソレヲ定メマシテ告示ヲ政スコトニ
致シタイト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ノ保
險期間デゴザイマスガ、是ハ保険ニ掛ケル
大臣ガソレヲ申シマスガ、火災保険ニ
其ノ期間ノコトヲ申シマスガ、火災保険ニ
喰ッ付イテ參リマス場合ハ、本ニナル火災
保険契約ト同ジ期間ニシヨウ、單獨ニ入り
マス場合ハ、原則トシテ一年又ハ六箇月ノ
切リノ宜所デ保険期間ヲ決メテ行キタイ、
斯様ナ腹案ヲ持ッテ居リマス、唯運送品ヲ目
的トスル戦争保険ニ關シマシテハ、其ノ運
送保険ノ性質上、六箇月トカ一年間ト云フ
譯ニ行キマセヌノデ、例ヘバ其ノ運送保険
ノ繼續シテ居ル期間、或ハ甲地カラ乙地ニ
到達スル期間ト云フ風ニ特別ノ保険期間ヲ
定メタイ考デゴザイマス、「其ノ他戦争保険
及地震保険ニ關シ必要ナル事項」ヲ定メルト
云フコトニナツテ居リマスガ、是ハ主トシテ
手續問題ヲ規定シテ行キタイ考デゴザイマ
ス、即チ契約者ノ申込ノ事項デアルトカ、
或ハ火災保険ト一緒ニ戦争保険ヤ地震保
険が成立スル場合ニ於テハ、簡素化ノ趣旨デ
特ニ保険證書ヲドワラズニ、本ニアル火
災保険證書ノ上ニ適當ナル記載ヲシテ、ソ
レデモウ保険契約ノ成立ヲ證明スルコトニ
スルトカ、或ハ保険金ヲ支拂フ場合ノ手續
デアリマストカ、或ハ戦争保険契約ナリ、
地震保険契約ナリヲ單獨ニ申込ヲシヨウト
スル場合ニ、其ノ目的ニナリマス物ノ價格
ノ見積リニ關シマシテ必要ナ證憑書類ナド
合デゴザイマスガ、是ハ愈、戦争保険契約又

ハ地震保険契約が成立ヲ致シマシテ、現ニ
約上ノ義務ト致シマシテ、其ノ損害ノ査定
ヲシテ填補額ヲ拂フノデゴザイマスガ、併
シ是ハ後程申上ダヌル通り、此ノ保険制
度ハ實質上國營トモ申スベキモノデアリマ
スルカラ、全部保険會社ノ任意デ支拂ヲ行
ハシメルノモドウカト云フ問題ガゴザイマ
スノデ、一定額以上ノ支拂ヲシヨウトスル
場合ニ於テハ、其ノ損害ノ原因及金額ニ關
シマシテ、戰時損害保険審査會ノ審査ヲ必
ズ經ナケレバナラヌト云フ規定ヲ設ケタノ
デゴザイマス、「第五條ノ損害保険ニ付テ」云
云トゴザイマスノハ、先程申上ダヌル通り
送保険契約ニ於テ、保險事故ガ發生致シマシ
タ場合ノ規定デゴザイマス、「命令ヲ以テ定
ムル額」ト申シマスノハ、同ジヤウナ規定ガ
現在戰爭保險臨時措置法ニゴザイマシテ、
現在デハ十萬圓以上ト云フコトニナッテ居リ
マスガ、簡素化ノ趣旨デ、之ヲ二十萬圓以
上ニ改メタイト云フ腹案ヲ持ツテ居リマス、
即チ二十萬圓ノ支拂ヲスル場合ハ、一應審
査會ノ議ヲ經テカラ保険會社ガ支拂ヲスル、
斯ウ云フ趣旨デゴザイマス、次ノ第十一條
ノ規定ガ、是ガ現在ノ戰爭保險臨時措置法
ト違ヒマス他ノ一ツノ重要ナ規定デゴザイ
マス、即チ保險ノ事故ガ發生致シマシタ場
合ニ、其ノ事故發生ノ狀況如何ニ依リマン
テハ、其ノ損害ノ査定ヲ保険會社ノ責任ニ
任シテ置キマセヌデ、政府自ラ其ノ損害ノ
原因ナリ、損害ノ金額ナリノ査定ヲ行フコ
トガ出來ルト云フ規定ヲ此ノ十一條デ取ツ
テ居ルノデゴザイマス、其ノ理由ハ、保險
事故ガ例ヘバ非常ニ大規模ニ發生致シマス
ルヤウナ場合ヲ想像致シマスト、ナカ／＼

是ハ保険會社ノ力ヲ以チマシテ損害ヲ査定
ノデゴザイマス、大空襲、大震災等ガゴザ
イマシタ場合ハ、ドウシテモ是ハ政府ノ手
デ損害ヲ査定シナケレバ書類ガ作成出來マ
セヌカラ、左様ナ場合ニ於キマシテハ、政
府自ラ損害ノ査定ニ當ルト云フコトヲ規定
致シテ居ルノデゴザイマス、又場合ニ依リ
マシテハ、保険會社ノ査定ヲ許サナイヤウ
ナ軍機其ノ他ノ關係ニ於テ機密ニ瓦ルヤウ
ナ場所ニ事故ガ發生スルヤウナコトガ有リ
得ルノデアリマスガ、左様ナ場合ニ於テハ政
府ニ於テ損害ノ金額ヲ査定スル、斯様ニ致
シタイ考デゴザイマス、第二項以下ハ其ノ
場合ニ必要ナ細カイ手續デゴザイマスガ、
即チ政府ガ愈々乘出シテ認定ヲシヨウト致シ
マス場合ニ、其ノコトヲ世間ニ知ラシテ置
ク必要ガゴザイマスカラ、大體期間ヲ定メ
マシテ、何時頃迄ニ其ノ査定ヲ終ルト云フ
コトヲ書キマシテ、之ヲ知ラセル、サウシ
マスト保険契約者ノ方モ保険會社ノ方モ政
府ノ措置ノアリマスル迄待テ居ル譯デアリ
マス、デ、愈々政府ノ査定ガ終リマシテ内容ガ
決定致シマスト、之ヲ保険會社ニ通知ヲシ
テ、保険會社ガソレニ依ツテ支拂ヲスル、其
ノ次ニゴザイマスノハ、政府ガ損害ノ査定ヲ
致シマス場合ニ總テ獨斷デ致シマスノモ如
何カト考へマシテ、戰時損害保険審査會ノ一
末項ノ規定ハ、是ハ第十條ノ規定ニ依リマ
スト、保険會社ガ多額ノ支拂ヲスル場合ハ、
一應審査會ノ議ヲ經ナケレバナラスコトニ
ナツテ居リマスガ、政府ガ認定ヲ致シタ場合
ニハ總テ審査會ノ議ヲ經タ上デ認定ヲスル

モノニアリマスカラ、重ネテ其ノ手續ヲ取
ル必要ガナイノデ、十條ノ規定ヲ排除スル
條項ガ置イテアルノデアリマス、其ノ次ノ
第十二條ハ、然ラバ政府ガ自ラ査定ヲスル
場合ニハ、如何ナル方法ニ依ッテ之ヲ査定ス
ルカト云フコトヲ書イタモノデアリマス、
即チ其ノ場合ハ、豫メ戦時損害保険調査委
員ト云フモノヲ全國ニ瓦ツテ委嘱致シテ置
キマシテ、萬一ノ場合ニ備ヘル、サウシテ
損害ノ發生致シマシタ場合ハ、其ノ所要ノ
地域ニアル戦時損害保険調査委員ヲ動員致
シマシテ、是等ノ人ニ依ッテ損害ノ調査ニ
當ツテ貰フ、サウシテソレヲ基礎ニ政府ガ損
害ノ査定ヲスル、斯ウ云フ段取ヲ示シテ居
ルノデアリマス、第二項ノ「戦時損害保険調
査委員ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定」
メルノデアリマスガ、例ヘバ其ノ調査委員
ノ職務、權限定員、任期、任命方法ナドノ
手續ヲ書キタイ趣旨デゴザイマス、次ノ第
十三條ノ規定ハ、是ハ政府ガ自ラ損害ノ査
定ニ當リ、又ハ調査委員ヲ使ッテ査定ヲ致シ
マス場合ニ於キマシテ、必要アル場合ニハ
保険會社ナリ、保険契約者ナリ、被保険者ナ
リ、其ノ他例ヘバ其ノ現場ニ居合セタ者ト
カ、其ノ土地ニ精通シテ居ル者トカ、ソレ
ゾレ適當ナ人ニ質問ノ權限ヲ認メテ居ルノ
デゴザイマス、是ガ損害ノ査定ヲ致シマス
手足トナルモノノ骨組デアリマスガ、實際
ノ査定ヲドウ云フ風ニスルカト云フ構想ヲ
シメル考デゴザイマス、財務局管内毎ニソ
レゾレ調査委員ヲ地域的ニ選任致シテ置ク
イマス財務局ヲ用ヒマシテ其ノ仕事ニ當ラ
ノデアリマスガ、其ノ選ニ當ル人ハ、例ヘ

バ保険ノ職員デアリマストカ、或ハ警察關係者、防空事務ノ關係者、或ハ商工經濟會ノ關係者デアリマストカ、保險會社關係ノ人デアリマストカ、其ノ他其ノ土地ノ事情ニ精通ヲシテ居ル人デアリマストカ、ソレヅレ適當ナル人ヲ豫メ任命致シテ置ク趣旨デゴザイマス、而シテ實際事故ガ起キマシタ場合ハ、先づ政府ト致シマシテハ、關係地域ニアリマスル保險契約ヲスル各保險會社カラ、資料ヲ提供サセルノデアリマス、而シテ其ノ資料ヲ損害保險統制會ヲ使ツテ整理ヲ致シマシテ、之ヲ地域的ナリ其ノ他適當ナ區分ニ分類ヲ致シマシテ、ソレヲソレヅレ擔當ノ調查委員ニ渡シマシテ、調査委員ハ其ノ資料ヲ基礎ニ實際ノ損害ノ發生狀況ヲ査定シテ參ル、ソレヲ財務局ニ於キマシテ取纏メラ致シマシテ、中央ニ報告スル、中央ハソレヲ基礎ニ審查會ニ議案ヲ掛けマシテ、其ノ承認ヲ經テ決定ヲシテ、保險會社ニ通知ヲスル、デ保險會社ハソレニ基イテ保險料ヲ支拂フ、斯ウ云フ大體ノ段取ヲ豫想致シテ居ルノデゴザイマス、第十四條ノ規定ハ、是ハ此ノ保險が實質上國營トモ看做スベキモノデアリマスカラ、強ヒテ印紙稅ヲ掛ケル必要モゴザイマセヌゾ、印紙稅ノ免稅規定ヲ設ケテアルノデアリマス、第十五條ハ政府ガ此ノ保險ノ行政ヲ行ヒマス上ニ於キマシテ必要ノアリマス場合ニ、關係者カラ報告ヲ徵シマシタリ、或ハコトヲ申上ゲテ居ル其ノ該當ノ條文デゴザ

イマス、即チ此ノ第十六條ノ建前ハ、此ノ保
險ニ關スル限り損益共ニ國ニ歸屬スルト云
フコトヲ書イテアルノデアリマス、第一項
ハ即チ保險會社ガ損ヲ受ケマシタ場合ハ、
其ノ損ヲ國カラ補償ヲスル、第二項ハ保險
會社ガ利益ヲ得マシタ場合ハ、其ノ利益ヲ
國庫ニ納付スルト云フ規定ガ設ケラレテア
ルノデアリマス、第三項ニ於キマシテ、然
ラバドノ範圍ヲ損失ト言ヒ、ドノ範圍ヲ利
益ト言フカ、又損失ノ補償、利益ノ納付ハ
如何ナル手續ニ依シテヤルカト云フコトヲ第
三項ノ命令デ規定致シタイ考デゴザイマス、
第十七條ハ先程第五條ノ運送保險ニ付テ特
別ノ扱ヒヲスルト云フコトヲ申上ゲマシタ
ガ、矢張リ其ノ運送保險ニ於キマシテ、保
險會社自身ノ事故ノ結果生ジマシタ保險會
社ノ損益ニ關シマシテハ、損ハ國ニ於テ補
償シ、利益ハ國ニ納付スルト云フ同ジ實體
ヲ規定致シマス爲ニ、此ノ第十七條ヲ設ケ
タノデゴザイマス、唯御承知ノ如ク免責ヲ
取拂フ形ヲ執ツテ居ルノデアリマスカラ、
第十六條ノ場合ト同ジヤウニ、後カラ之ヲ
損トシ、之ヲ利益トスルト云フ風ナ計算ガ
出來マセヌノデ、稍、條文ガ複雜ニナツテ居
リマスルケレドモ、要スルニ一定ノ收入金
ト一定ノ支出金トヲ見較ベマシテ、支出金
ノ方ガ多ケレバ其ノ超過額ヲ國ガ補償シ、
收入金ノ方ガ多ケレバ其ノ差額ヲ國ニ納
付セシメル、斯様ナ體裁ヲ設ケタノデアリ
マス、第三項ノ場合ハ、補償ヲスル場合、
納付ヲ致シマス場合、必要ノ手續ヲ規定致
シタイ趣旨デゴザイマス、次ニ第十八條ハ
是ハ今モ申上ゲマシタ通り、此ノ保險ガ實
質上國營ト申シマスカ、損益共ニ國ニ歸屬
スルノデアリマスカラ、之ヲ普通ノ事業ニ

依ル所得等ノ税金關係ノ基礎ニ利用致シマスコトハ、筋ガ立チマセヌノデ、普通ノ保険會社ノ營業トハは、切離シテ計算ヲシ、法人稅法ニ依ル所得、營業稅法ニ依ル純益及臨時利得稅法ニ依ル利益ノ計算等ハ、全部此ノ計算ヲ除外シテ考ヘルト云フコトヲ適用セズ」トゴザイマスガ、是ハ權太ハ是等ノ稅法ガ及シニ居リマセヌ、別ノ勅令デ之ニ類似ノ稅法ヲ設ケテ居リマスガ、矢張リ其ノ勅令ノ中ニ於キマシテ、第二項ト同ジヤウナ規定ヲ致ス考デゴザイマス、第十九條ノ規定ハ、政府ガ自ラ損害ソ査定ヲ致シマス場合、或ハ調查委員ヲ使ヒマシテ査定ヲ致シマスルヤウナ場合ニ於キマシテ、保險會社其ノ他勅令ヲ以テ定ムルモノニ協力スベキコトヲ命令スルコトガ出來ルト云フコトガ第一ツト、ソレカラ保険會社其ノ他ノモノヲシテ此ノ法律ニ依シテ政府ガ行フ事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトガ出來ルト云フノガ第二ノ點デゴザイマス、デ「保險會社其ノ他勅令ヲ以テ定ムル」トゴザイマスルノハ、損害保險統制會ヲ考ヘテ居ルノデゴザイマス、此ノ規定ノ協力部分ハ、先程モチヨット申上ゲマシタガ愈、損害ソ起リマシタガ、場合ニ、各保險會社カラ特定ノ地域ニ於テ、其ノ保險會社ガ持ツテ居ル契約ノ詳細ヲ資料トシテ提出サセ、其ノ資料ヲ戰時損害保險會社ニ廻シマシテ仕分ケンシ、適當ニ纏メサセマシテ、ソレガ政府ナリ調査委員ナリノ調査ノ基礎ニ使フ、斯ウ云フ協力ノ仕得下申シマスノハ、先程ノ火災保險ニ自衛

的ニ戰爭保險ガ喰付キマス場合、大藏大臣ノ認可ヲ得タ場合ハ喰付ケナクテモ宜シト云フコトヲ申シタノデアリマスガ、其ノ認可ノ手續ハ、極メテ簡便ニ大臣ノ認可ヲ得ラマス關係上、保險會社ヲ取扱ハシメタイト考ヘテ居ルノデアリマス、保險會社ノ窓口ニ於キマシテ極ク簡易ニ大臣ノ認可ヲ得ラレルヤウナ手續ヲ取運ブコトヲサセル關係上、「本法ニ依リ政府ノ行フ事務ノ一部ヲ取扱ハシムルコトヲ得」ト斯ウ云フ規定ノ關係ニ相成ルノデゴザイマス、第一十條、第二十一條ハ罰則ノ規定デゴザイマス、第二十二條ハ是ハ矢張リ罰則ク規定ガ、使用人等ニ付テ事故ガ起リマシタ場合、其ノ主人等ニ對スル關係ヲ規定致シマシタモノデゴザイマス、是ハ此ノ種ノ罰則ノ例文的規定デゴザイマス、第二十三條ハ、損害ノ査定ニ當リマシタ官吏又ハ調査委員ナリ或ハ審查會ノ職員ナリ、損害ノ査定ニ協力ヲ致シマシタヤウナ者ガ、其ノ職務執行上知リ得マシタコトヲ、其ノ祕密ヲ漏泄致シマシタリ或ハ竊用致シマシタ場合ニ於ケル罰則ノ規定デゴザイマス、以上ガ此ノ法律案ノ本文ノ規定デゴザイマスガ、尙附則ヲ設ケマシテ經過的ニ必要ナル規定ヲ掲ゲタノデゴザイマス、第一ハ施行期日ニ關スルモノデゴ火災保險等ニ自働的ニ附帶スル關係ガゴザイマスノデ、相當周知方ヲ圖ル必要モゴザノ種ノモノデアリマスカラ、仕事ヲ急ギマシテ速カニ施行スル積リデゴザイマスガ、モット早ク整ヒマスレバ其ノ以前ニ於テモ施行致シタイ考ヲ有ツテ居リマス、第二項ノ戰

争保険臨時措置法ノ廢止ハ前段ニ申上ゲ
シタ通リデゴザマイス、其ノ次ニゴザイマ
ス規定ハ、現在ヤッテ居リマス戰爭保険契約
ハ此ノ法律ガ出來マシタ場合ニドウスルカ
ト云フコトノ規定デゴザイマス、此ノ規定
ニ依リマスト、現在アル戰爭保険契約ハ、
此ノ新シイ法律ニ依ッテ出來タ戰爭保険契
約ト看做スト云フコトヲ規定致シテ居ルノ
デゴザイマス、先程申シマシタ通り、今度
ノ保険契約ノ方ガ損害填補ノ範圍ガ廣ク
ナツタリ致シテ居リマスノデ、元ノ法律ニ
依ッテ成立致シマシタ保険契約ヲ新シイ法
律ニ依ルモノト看做スコトニ依ッテ、却テ保
険契約者ノ方ガ有利ニナルモノト考ヘルノ
デアリマス、從ヒマシテ斯様ニ規定致シマ
シテモ弊害ハナイモノト考ヘテ居ルノデゴ
ザイマス、其ノ次ノ項ハ既ニ生ジマシタ事
故ニ付キマシテハ是ハ舊法ニ依ッテ處理ヲス
ル、又保險會社ノ此ノ保險ヲ實行致シマス
上ニ於テ生ジマシタ損益ノ計算ノ關係ニ付
キマシテハ、從前ノ規定ハ引續キ本法ニ依
ル保險契約ノ結果生ジタルモノトシテ取扱
フ、即チ此ノ法律施行ノ前後ヲ通算致シマ
シテ、同ジヤウニ取扱ッテ行クト云フ規定デ
ゴザイマス、最後ニ此ノ外切替ノ際ニ必要
ナ規定ハ、命令ヲ以テ定ムルトゴザイマスガ、
是ハ例ヘバ從來既ニ出來テ居リマス書類
ヲドウ云フ風ニ今後認メテ行クカト云フヤ
ウナ極メテ事務的ナ手續規定ヲ作ルト云フ
考デゴザイマス、以上デ大體此ノ法案ノ極
ク概略ヲ申上ゲタノデアリマスガ、尙茲ニ
一言申上ゲテ置キマスコトハ、先程申上ゲ
マシタ通リ戰爭保険ニ付キマシテハ現在年
額三圓五十錢デヤッテ居リマスモノヲ、年額
二圓五十錢ト大幅ノ切下ゲラ致ス考デ居リ

マスガ、其ノ際既ニ現在入ツテ居リマス其ノ
人ニ付キマシテモ、其ノ切替ノ際ニ格別ノ
損害ハ與ヘヌト申シマスカ、値下ノ恩惠ヲ
及ボシマスコトニ考ヲ致シマシテ、例ヘバ
昨年ノ四月ニ一度保険料ノ引下ヲ致シマシ
タガ、其ノ際ニ於キマシテ執リマシタ同
様ニ、次ノ保険契約ノ保険料トシテ其ノ一
部ノ充當ヲ認メルト云フヤウナ便法ヲ作り
マシテ、損害ノ及ビマセヌヤウニ取計ラヒ
タイト考ヘルノデゴザイマス、從ヒマシテ
斯様ナ説明ヲ申上げマシテモ、現在アリマ
スル法律ニ依ツテ保険契約ノ締結ヲ阻碍スル
コトノナイヤウニ致シテ參リタイ考ヲ持ッテ
居ル次第デゴザイマス、以上甚ダ簡単デゴ
ザイマスガ概略ヲ申上げマシタ次第デゴザ
イマス

○委員長（男爵東郷安君） 何カ大體ニ付テ
御質問ハゴザイマスカ

○伯爵橘本實斐君 空爆ヤ何カデ契約書方
滅失シタ場合ノ救濟方法ハドウ云フ 風
二…

○政府委員（山際正道君） 其ノ場合ニ於キ
マンテハ、會社ノ帳簿ナリ、或ハ政府ニ出
シテ居リマスル報告ナリ、其ノ他證人ガア
レバ證人ヲ立テルトカ、有ラユル他ノ資料
ヲ探シマシテ、其ノ資料ニ基キマシテ、假
令本物ハ焼ケテシマヒマシテモ、保険契約
者ニ損害ノ無イヤウナ便宜ナ措置ヲ執ツテ
行ク考デゴザイマス

○伯爵橘本實斐君 尚此ノ戦争及地震保険
ハ、非常ニ廣汎ナ、場合ニ依ツテハ、事故ノ起
リ方ガアリ得ルト思ヒマス、其ノ場合、無
論政府ハ遺漏ノナイ保険計算上ノ結果此ノ
案ヲ御立テニナツタコトト存ジマスガ、エライ
國庫ニ損害ノ及ブヤウナコトハ起リ得マセ

○委員長(男爵東郷安君)	速記中止
〔速記中止〕	
○委員長(男爵東郷安君)	速記開始、本日
ハ此ノ程度デ止メテ置キマス、尙最後ニ御	
諸リ致シマスガ、明日午後一時半カラ開會	
致シマスガ、其ノ節適當ナ時機ニ於テ委員	
外ノ岩田宙造君カラ本法案ニ付テ質問ヲ致	
シタイト云フ御申出ガゴザイマシタガ、許	
可シテ差支ゴザイマセヌカ	
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕	
○委員長(男爵東郷安君)	御異議ナイト認
スマス、ソレデハ是ヲ以テ散會致シマス	
午後三時五十三分散會	
出席者左ノ如シ	
委員長 男爵東郷 安君	
副委員長 子爵梅園 篤彦君	
委員 侯爵大隈 信常君	
侯爵淺野 長武君	
伯爵橋本 實斐君	
子爵米田 國臣君	
大野綠一郎君	
坂西利八郎君	
男爵坊城 倭賢君	
男爵倉富 鈞君	
宮田 光雄君	
稻畑勝太郎君	
千石興太郎君	
佐々木八十八君	
伊藤 傳七君	
中島徳太郎君	
政府委員	
内務省管理局長 竹内 德治君	
朝鮮總督府財務局長 水田 直昌君	

第四部第一〇類 昭和十九年度一般會計歳出ノ財源ニ充ツル等ノ爲ノ公債發行ニ關スル法律案特別委員會議事速記録第三號 昭和十九年二月二日

貴族院

二二一

昭和十九年二月二日印刷

昭和十九年二月四日發行

貴族院事務局

印刷者 印 刷 局